

# 直轄工事における総合評価落札方式等の実施状況 【平成30年度】

---

国土交通省の地方整備局が平成30年度に契約した工事は、一般競争入札、指名競争入札、随意契約含め合計7,898件となっている。(※1) 国土交通省の直轄工事では平成17年に施行された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」を受け、総合評価落札方式を適用することにより公共工事の品質確保を図っており、この総合評価落札方式を適用した工事についてこれまでの経年状況と併せて概観するために、平成30年度年次報告として実施状況を整理した。(※2)

## 1. 総合評価落札方式の適用状況

- 平成30年度の総合評価落札方式適用率(※3)は件数ベースで99.2%、金額ベースで99.7%。(P1~2)
- 各契約タイプにおける内訳は件数ベースで施工能力評価型(Ⅱ型)が70.3%で最も多く、同(Ⅰ型)が22.8%、技術提案評価型(S型)が6.8%、技術提案評価型(A型)が0.0%(1件)。金額ベースで施工能力評価型(Ⅱ型)が43.2%、技術提案評価型(S型)が36.3%、技術提案評価型(A型)が0.0%。(P1~2)

## 2. 競争の程度の状況

- 1工事あたりの競争参加者数は施工能力評価型で5.1者、技術提案評価型(S型)で6.3者であり、3年連続で減少。WTO技術提案評価型(S型)(※4)については、1工事あたりの競争参加者数は14.3者で前年度より減少。(P4)

## 3. 落札率、入札率の状況

- 平均入札率は施工能力評価型(Ⅰ型・Ⅱ型)で平成30年度は94.9%であり、前年度から増減なし。WTO技術提案評価型(S型)については、平成30年度は93.8%。(P7)

## 4. 技術評価の状況

- 技術評価点1位と2位の得点差は技術提案評価型(S型)で平均3.2%、施工能力評価型で平均2.5%、WTO技術提案評価型(S型)は1.3%であり、WTO技術提案評価型(S型)が最も小さい。(P14)

## 5. 総合評価の特徴

- 落札者に占める技術評価点の最高得点者の割合は、施工能力評価型で平成30年度は85.0%、技術提案評価型(S型)で84.2%であり、前年度より減少。(P21)

## 6. 総合評価の導入と工事成績評定点

- 工事成績評定点の平均は施工能力評価型(Ⅱ型)で78.6点、同(Ⅰ型)で79.3点、技術提案評価型(S型)で78.9点、WTO技術提案評価型(S型)で79.6点。(P35)

(※1) 国土交通省直轄工事等契約関係資料 令和元年度版(30年度実績)より 国土交通省の8地方整備局の契約工事、港湾・空港関係の工事を含む。

(※2) 当年次報告は総合評価落札方式の実施状況について経年変化を見るために分析を行ったもので、随意契約等の契約方式については対象としていない。

(※3) 総合評価落札方式実施数/契約数(総合評価落札方式+価格競争)により算出している。

(※4) 「WTO技術提案評価型(S型)」は、技術提案評価型(S型)のうち、WTO対象額以上の工事を示す。

1. 総合評価落札方式の適用状況	1
2. 競争の程度の状況	4
3. 落札率・入札率の状況	6
4. 技術評価の状況	13
5. 総合評価の特徴	21
6. 総合評価の導入と工事成績評定点	34

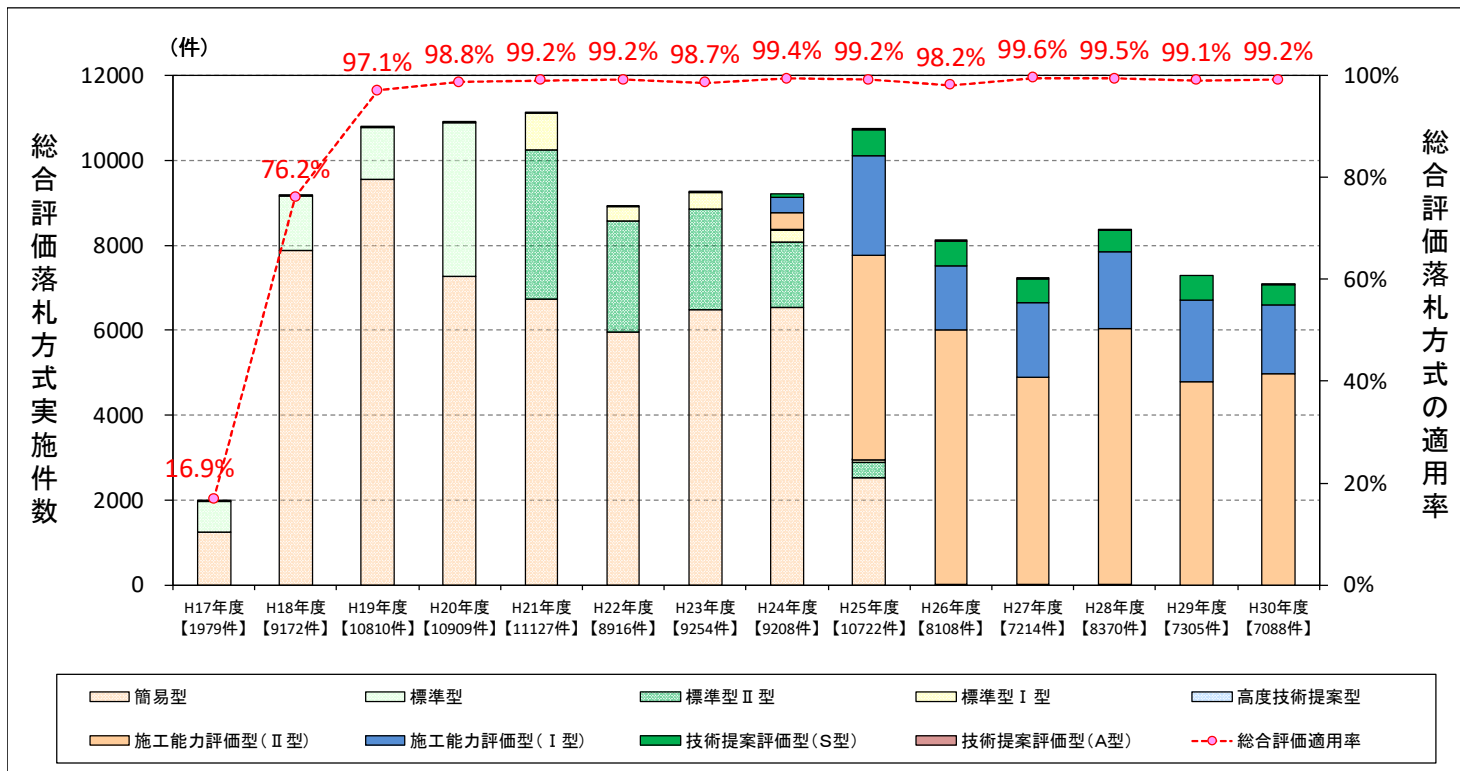
# 1. 総合評価落札方式の適用状況

## (1) 総合評価落札方式適用件数、金額〔経年の推移〕

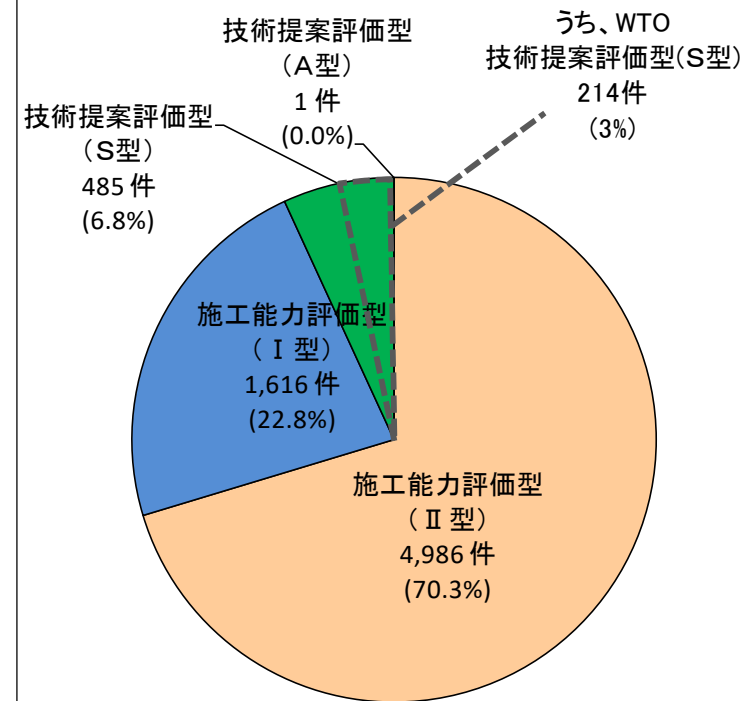
### ①実施件数

- 平成30年度の総合評価落札方式適用率は件数ベースで99.2%となっている。
- 各契約タイプにおける件数ベースの内訳は、施工能力評価型(Ⅱ型)が70.3%で最も多く、同(Ⅰ型)が22.8%、技術提案評価型(S型)が6.8%、技術提案評価型(A型)が0.0%(1件)となっている。

【実施件数(平成17年度～平成30年度)】



【件数シェア(平成30年度)】



注1) 8地方整備局の工事を対象(港湾・空港関係工事を含む)

注2) 適用率は随意契約を除く全発注工事件数に対する総合評価落札方式実施件数の割合

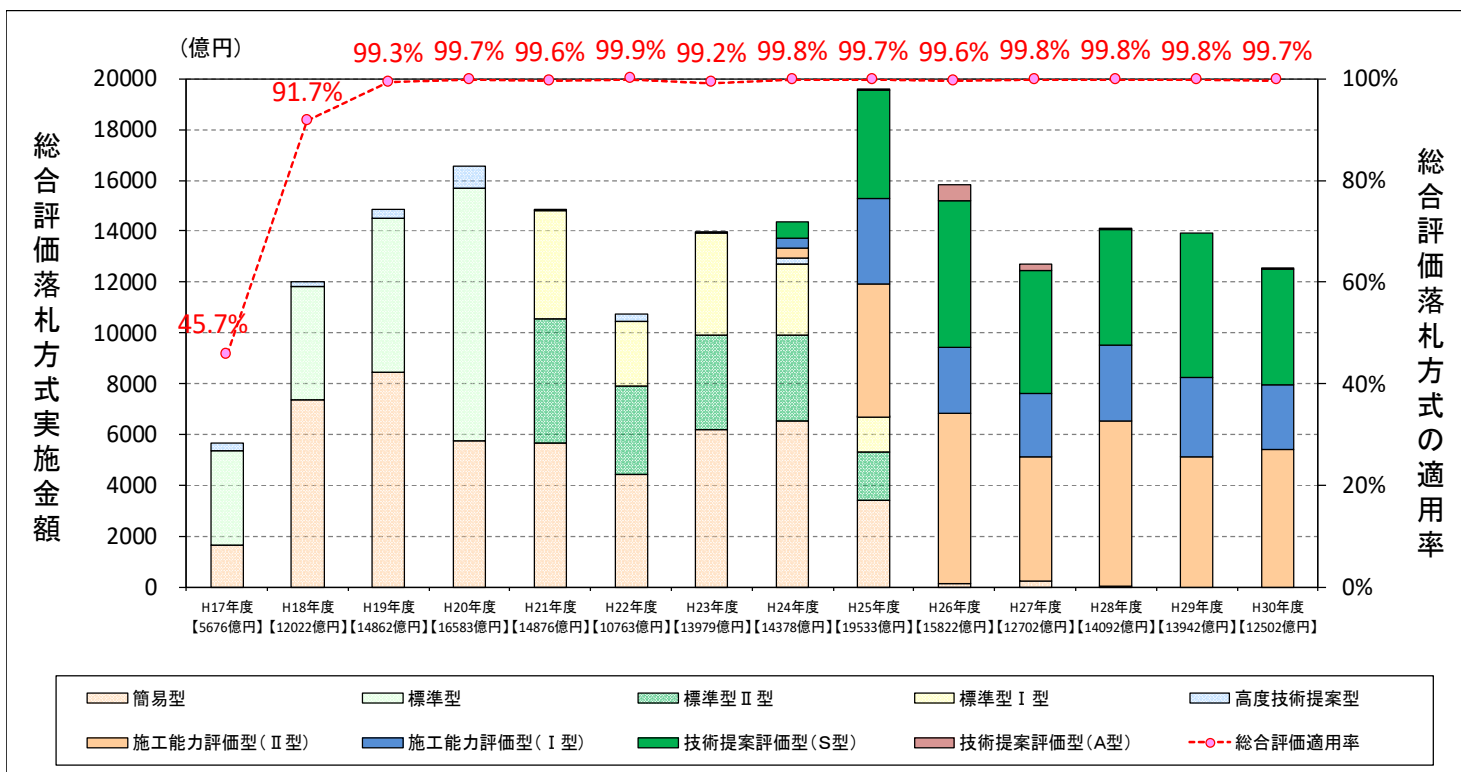
注3) 平成30年度は上記の他、技術提案・交渉方式による手続きを経た工事1件および価格競争による工事56件の契約を締結

# 1. 総合評価落札方式の適用状況

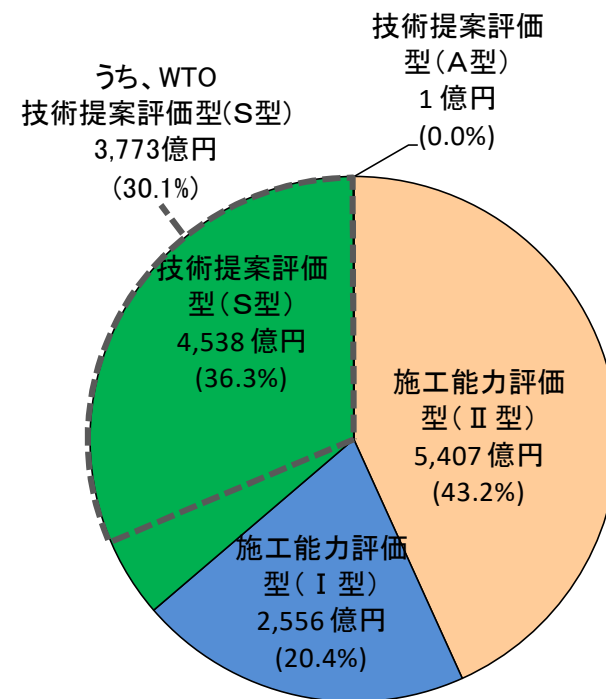
## ②実施金額（契約額）

- 平成30年度の総合評価落札方式適用率は金額ベースで99.7%となっている。
- 各契約タイプにおける金額ベースの内訳は、施工能力評価型（Ⅱ型）が43.2%、技術提案評価型（S型）が36.3%、技術提案評価型（A型）が0.0%となっている。

【実施金額（平成17年度～平成30年度）】



【金額シェア（平成30年度）】



注1) 8地方整備局の工事を対象（港湾・空港関係工事を含む）

注2) 適用率は随意契約を除く全発注工事金額に対する総合評価落札方式実施金額の割合

注3) 実施金額は契約額（税抜）

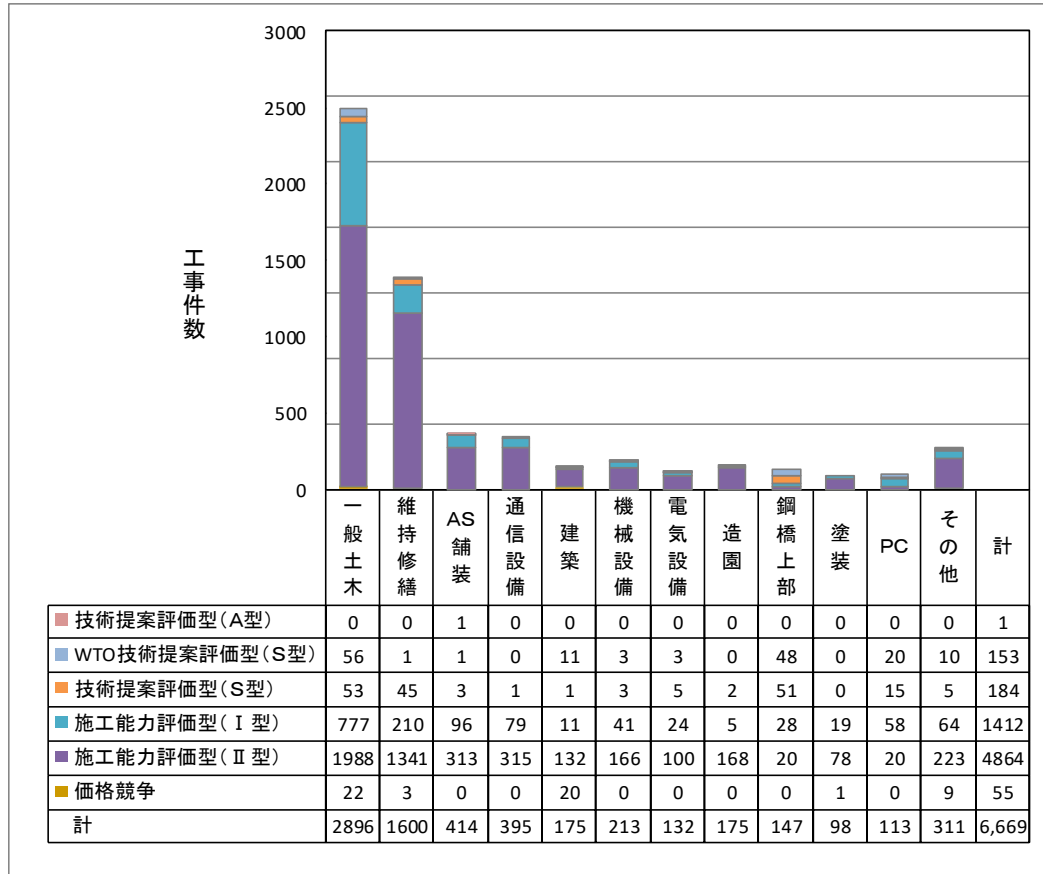
注4) 平成30年度は上記の他、技術提案・交渉方式による手続きを経た19.8億円（1件）の工事および価格競争による41.15億円（56件）の工事の契約を締結

# 1. 総合評価落札方式の適用状況

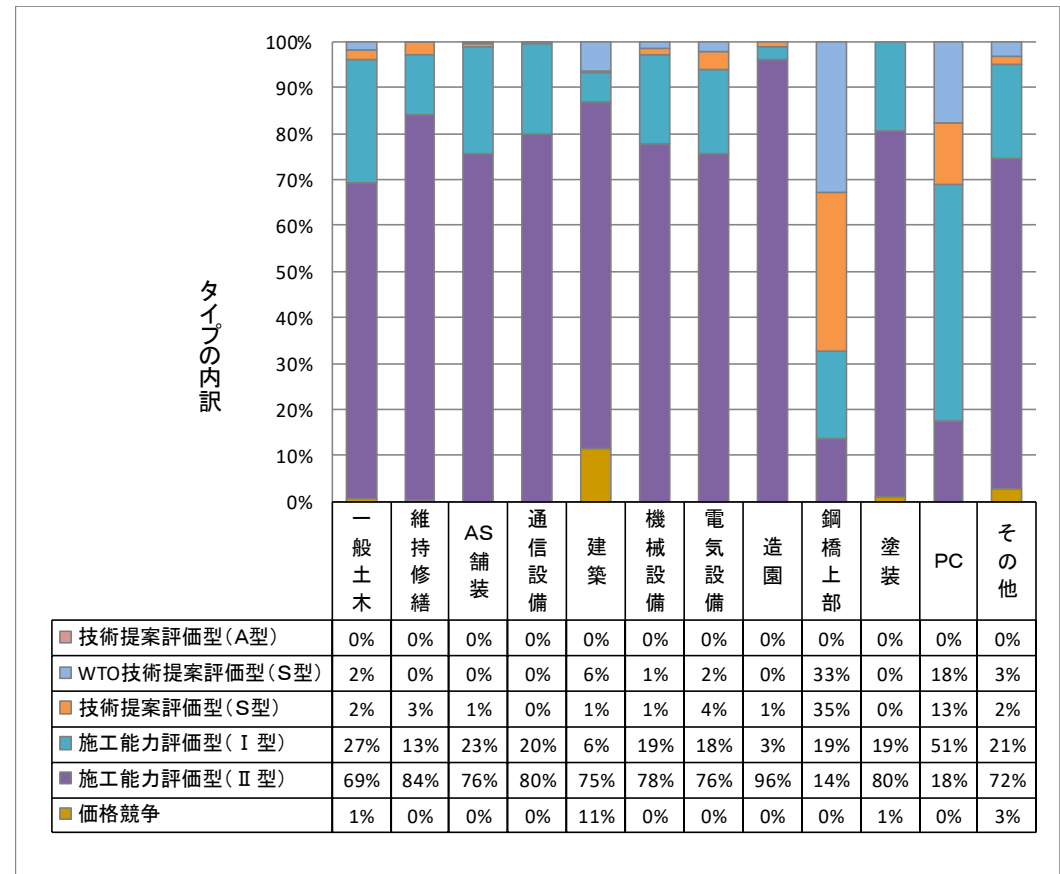
## (2) 契約タイプの適用状況 工事種別〔平成30年度〕

- 技術提案評価型を適用した工事の割合は、鋼橋上部で68%、PCで31%となっている。
- 施工能力評価型の適用は一般土木で96%となっている他、鋼橋上部とPC、建築以外の工事は施工能力評価型の適用が90%を超えている。

【 工事種別ごとの工事件数 】



【 工事種別ごとの割合 】



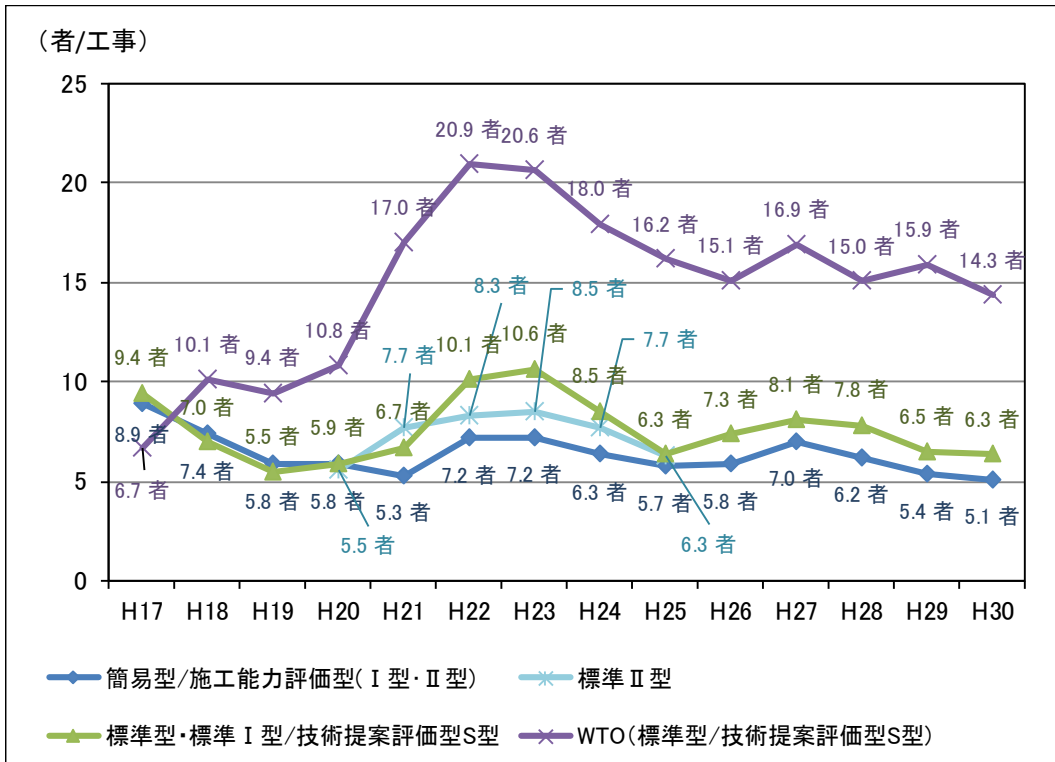
注1) 8地方整備局の工事のうち、港湾・空港関係を除く工事を対象

# 2. 競争の程度の状況

## (1) 1工事あたりの競争参加者数〔経年の推移〕

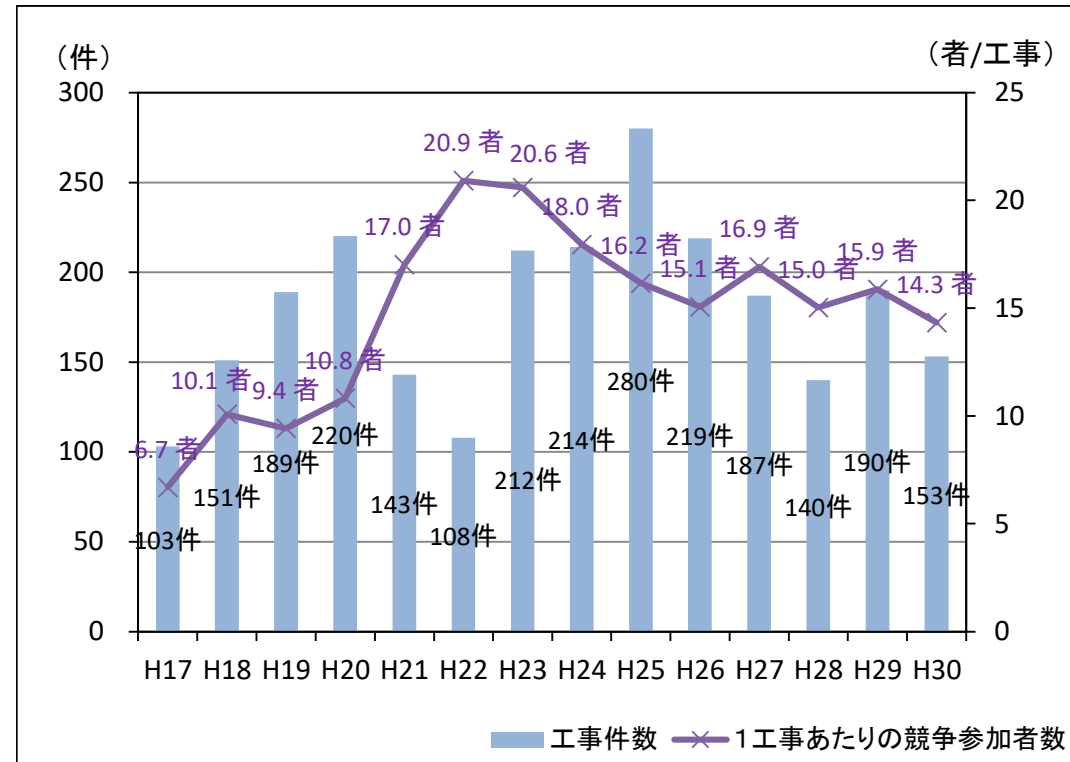
- 1工事あたりの競争参加者数は、施工能力評価型で5.1者、技術提案評価型(S型)で6.3者となっており、3年連続で減少している。
- WTO技術提案評価型(S型)の平成30年度の1工事あたりの競争参加者数は14.3者で前年度より減少している。

【 1工事あたりの競争参加者数 】



【 工事件数の推移と1工事あたりの競争参加者数 】

(WTO標準型/WTO技術提案評価型S型)



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
・港湾・空港関係工事 ・価格競争 ・高度技術提案型/技術提案評価型A型  
・加算方式の試行工事(平成19年度)

注2) 平成22年度以前の競争参加者数は7地方整備局で集計

注3) 競争参加者数には無効・辞退等及び予定価格超過者を含む。

注4) 「WTO(標準型)」は、標準I型、標準II型のうちWTO対象額以上の工事、「WTO技術提案評価型(S型)」は、技術提案評価型(S型)のうちWTO対象額以上の工事を示す。(以後、同様)

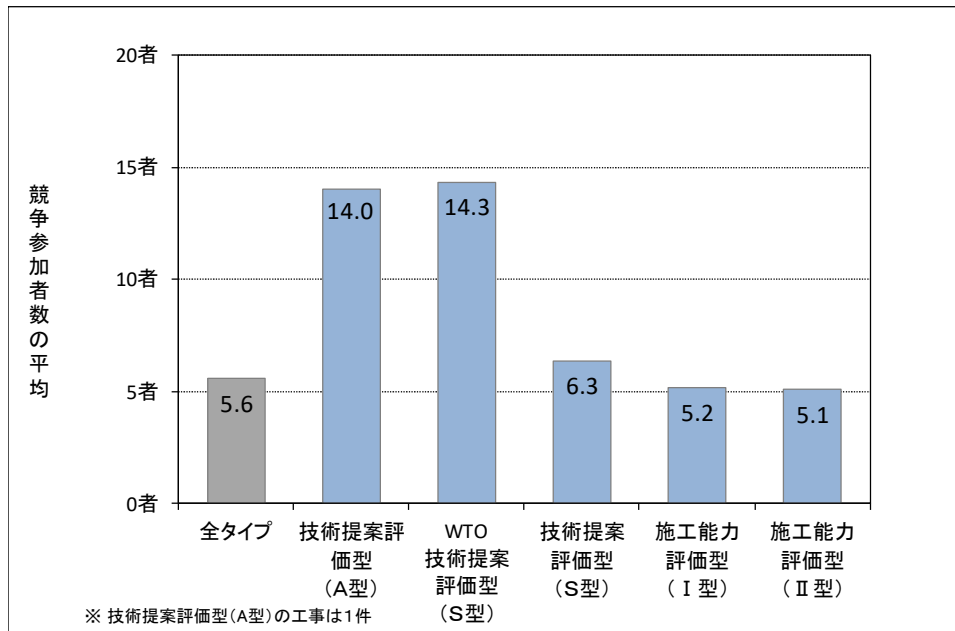


## 2. 競争の程度の状況

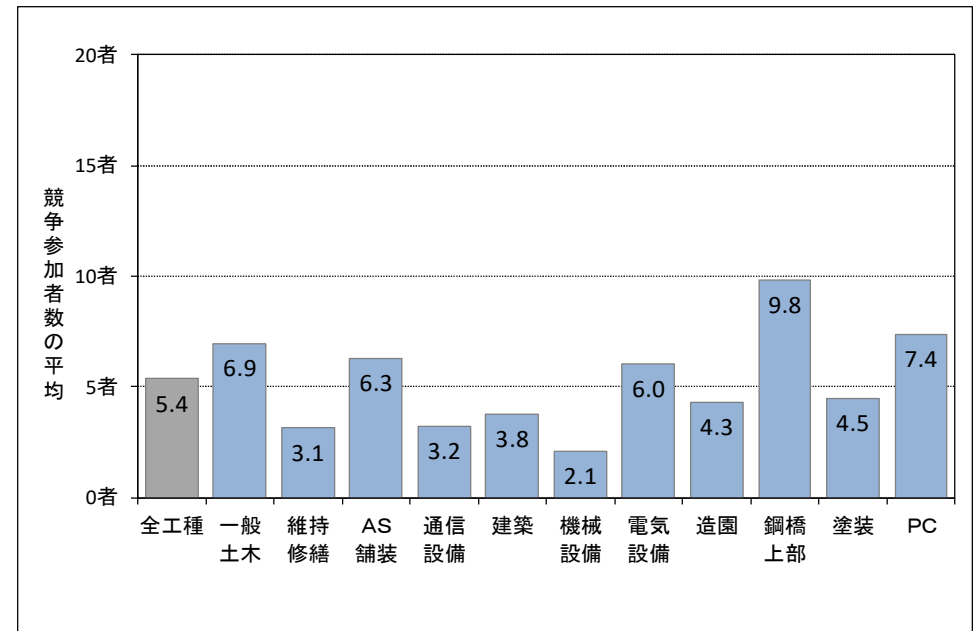
### (2) 契約タイプ別、工事種別別の競争参加状況〔平成30年度〕

- 総合評価の契約タイプ別では、施工能力評価型(Ⅱ型)の競争参加者数は平均5.1者となっている。WTO技術提案評価型(S型)では平均14.3者と多くなっている。
- 工事種別別では、一般土木は平均6.9者、AS舗装で6.3者、電気設備で6.0者、鋼橋上部で9.8者、PCで7.4者と多くなっている。

【 契約タイプ別・競争参加者数の平均 】



【 工事種別別・競争参加者数の平均 】



注1) 8地方整備局の工事のうち、港湾・空港関係を除く工事を対象  
注2) 競争参加者数には、無効・辞退等及び予定価格超過者を含む。

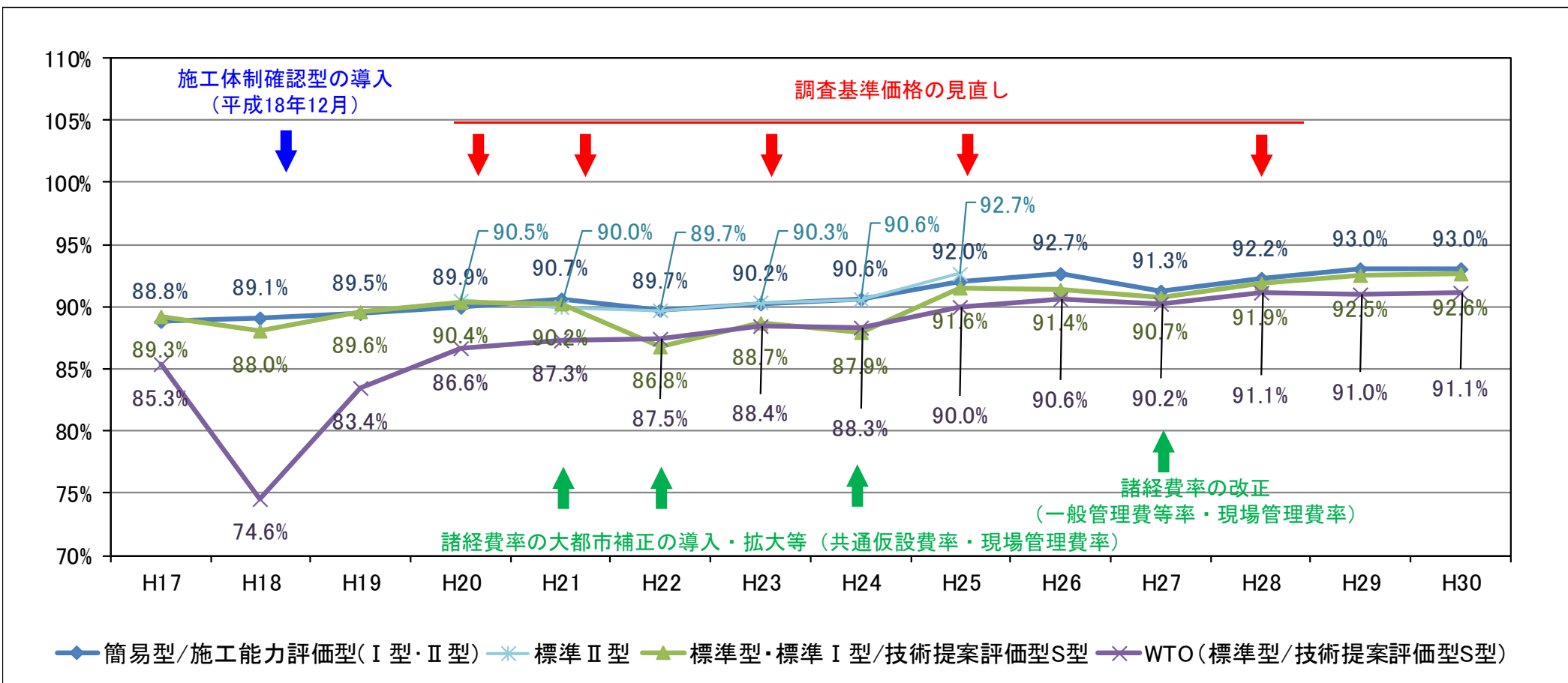


# 3. 落札率・入札率の状況

## (1) 平均落札率〔経年変化〕 (平均落札率:各工事の「落札価格/予定価格」を平均したもの)

- 平均落札率は、施工能力評価型(I型・II型)で平成30年度は93.0%で前年度から変わらない。施工体制確認型が導入された平成18年の89.1%から3.9%の上昇となっている。
- WTO技術提案評価型(S型)の平均落札率は、平成30年度は91.1%となっている。

【落札率の経年変化】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
 ・港湾・空港関係工事 ・価格競争 ・高度技術提案型/技術提案評価型A型 ・加算方式の試行工事(平成19年度)

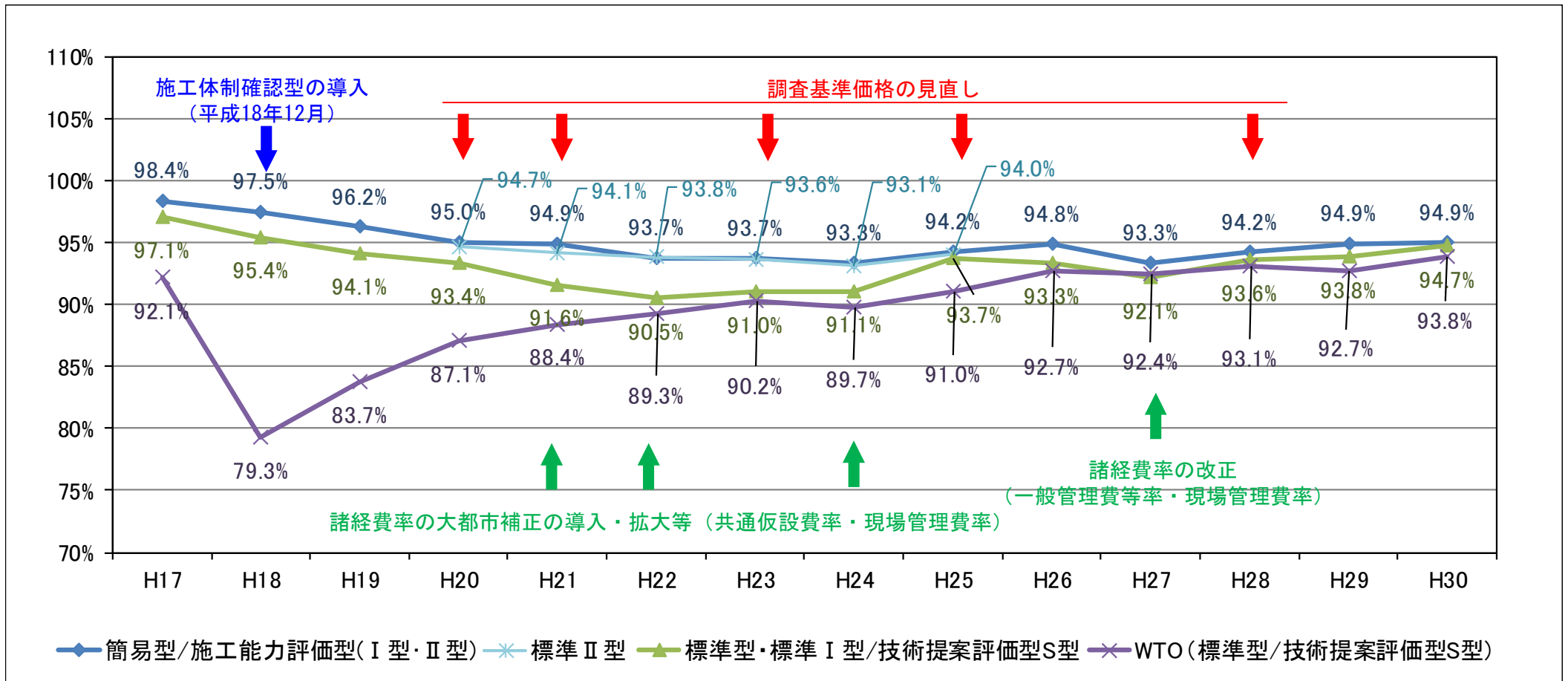
(落札者の「落札価格/予定価格」を、各タイプ別に年度ごとに平均した値)

# 3. 落札率・入札率の状況

## (2) 平均入札率〔経年変化〕 (平均入札率:各工事の「入札価格/予定価格」を平均したもの)

- 平均入札率は、施工能力評価型(I型・II型)で平成30年度は94.9%であり、前年度と同じである。
- WTO技術提案評価型(S型)の平均入札率は、平成30年度は93.8%である。

【 入札率の経年変化 】



(入札参加者(無効・辞退等を除く)の「入札価格/予定価格」を、各タイプ別に年度ごとに平均した値)

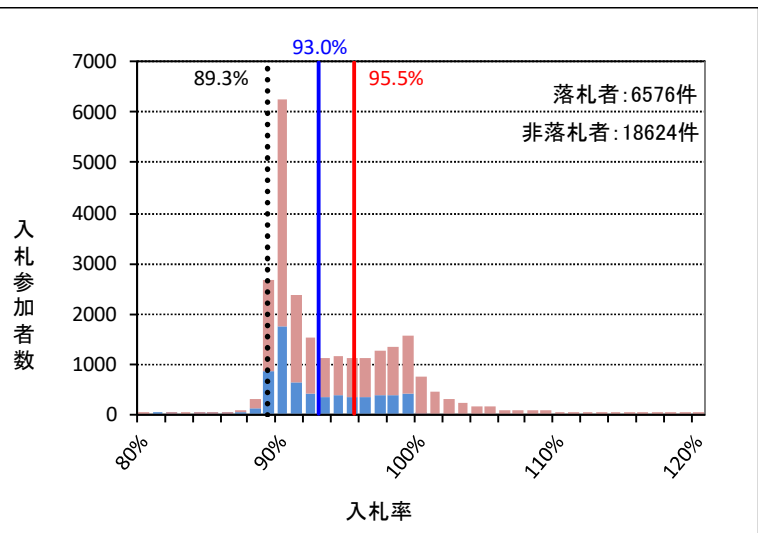
注1)8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
・港湾・空港関係工事 ・価格競争 ・高度技術提案型/技術提案評価型A型 ・加算方式の試行工事(平成19年度)

# 3. 落札率・入札率の状況

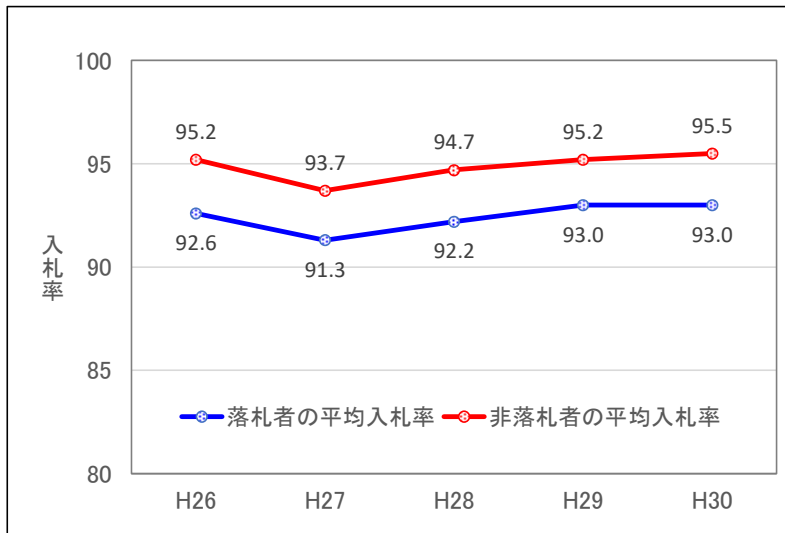
## (3) 入札率の分布〔経年変化〕

■ 入札率の分布は調査基準価格付近で多く、落札者の平均入札率は平成30年度に93.0%で平成29年度と変わらず、非落札者の平均入札率は同95.5%で0.3%上昇している。

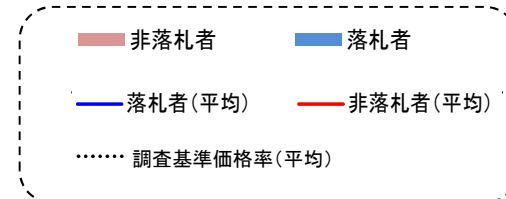
【平成30年度】



【平均入札率の経年変化】



〔凡例〕



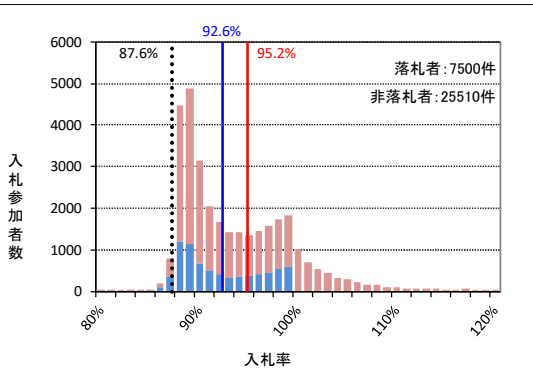
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・調査基準価格が設定されていない工事

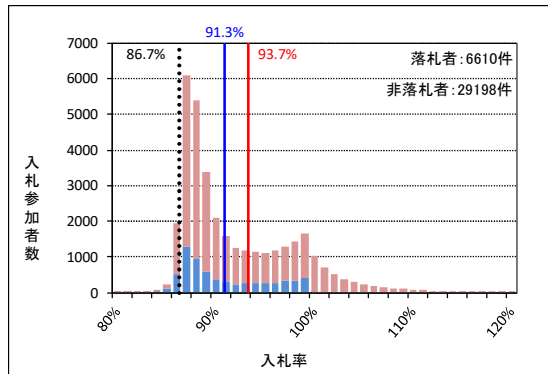
注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。

注3) 「調査基準価格率」とは、調査基準価格を予定価格で除して算出した数値

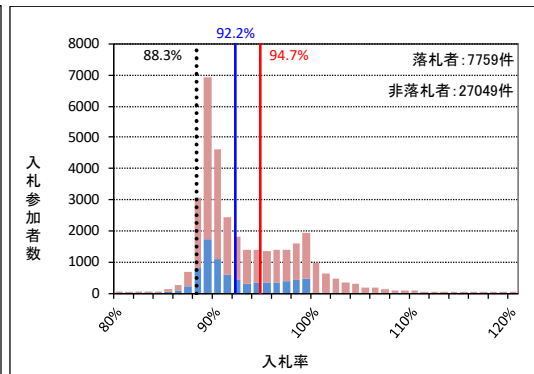
【平成26年度】



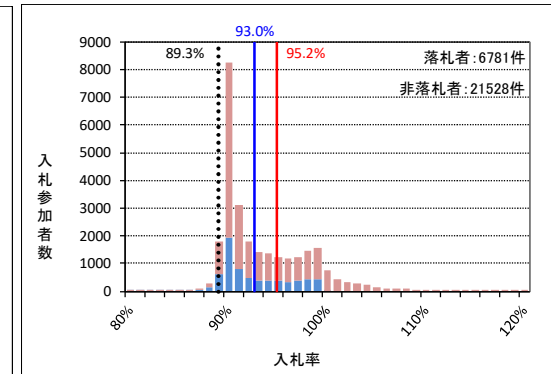
【平成27年度】



【平成28年度】



【平成29年度】



# 3. 落札率・入札率の状況

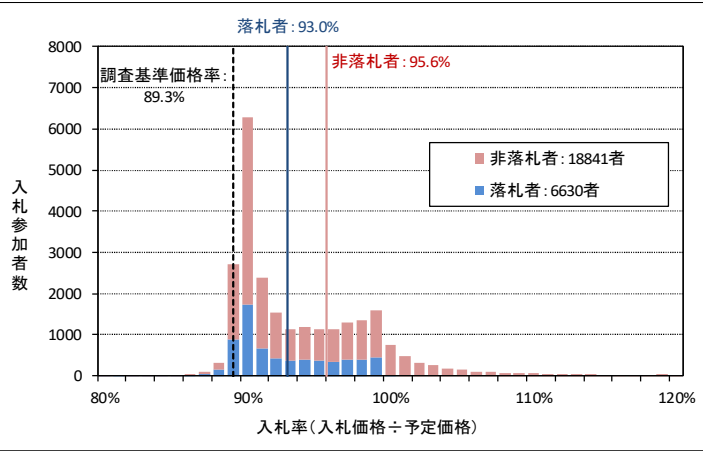
## (4) 入札率の分布〔平成30年度〕

### ① 工事種別別

- 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCでは、入札率の分布が調査基準価格付近に集中している。
- 維持修繕、機械設備では、調査基準価格付近の他、予定価格付近にも集中している。

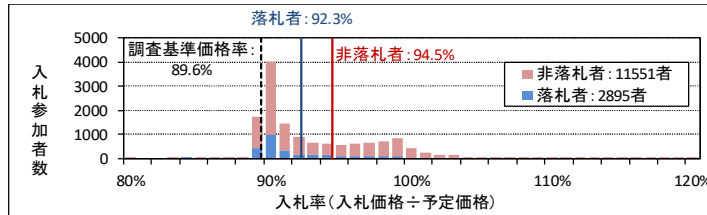
〔全工事種別〕

工事件数: 6,630件  
平均工事規模(予定価格): 197百万円  
平均入札参加者数: 3.8者



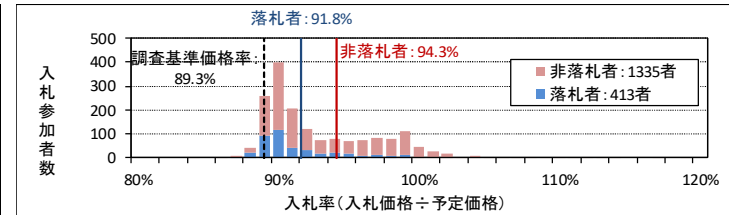
〔一般土木〕

工事件数: 2,895件  
平均工事規模(予定価格): 261百万円  
平均入札参加者数: 5者



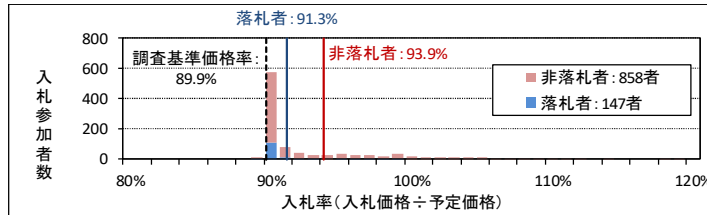
〔AS舗装〕

工事件数: 413件  
平均工事規模(予定価格): 153百万円  
平均入札参加者数: 4.2者



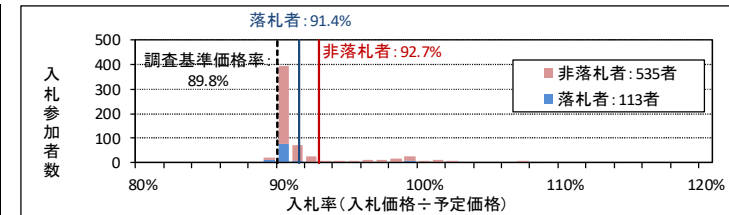
〔鋼橋上部〕

工事件数: 147件  
平均工事規模(予定価格): 624百万円  
平均入札参加者数: 6.8者



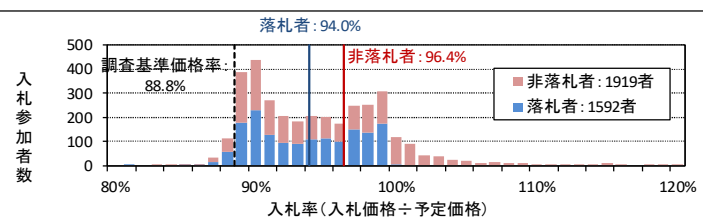
〔PC〕

工事件数: 113件  
平均工事規模(予定価格): 480百万円  
平均入札参加者数: 5.7者



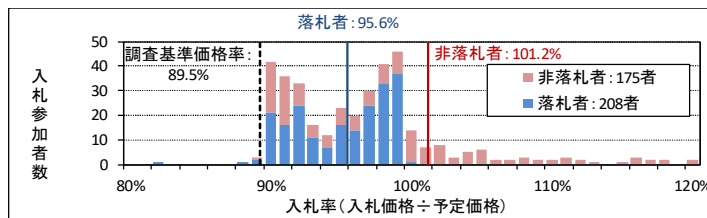
〔維持修繕〕

工事件数: 1,592件  
平均工事規模(予定価格): 112百万円  
平均入札参加者数: 2.2者



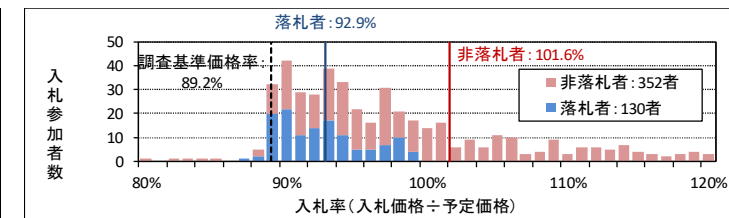
〔機械設備〕

工事件数: 208件  
平均工事規模(予定価格): 102百万円  
平均入札参加者数: 1.8者



〔電気設備〕

工事件数: 130件  
平均工事規模(予定価格): 121百万円  
平均入札参加者数: 3.7者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・調査基準価格が設定されていない工事

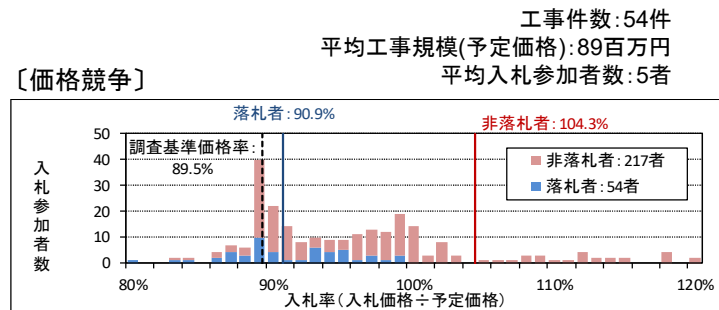
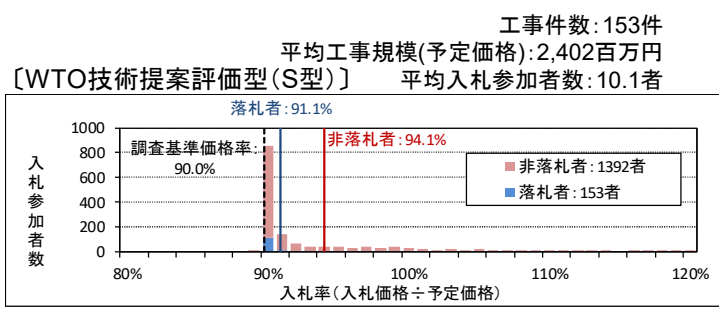
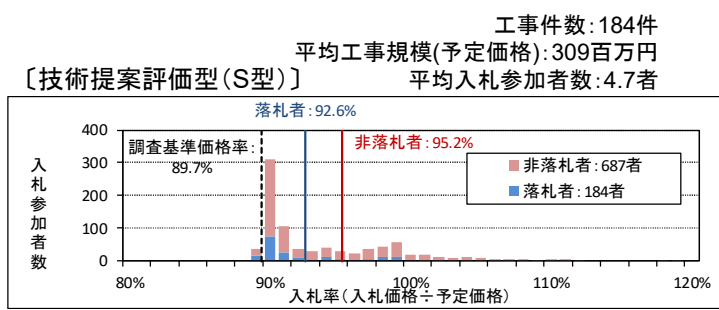
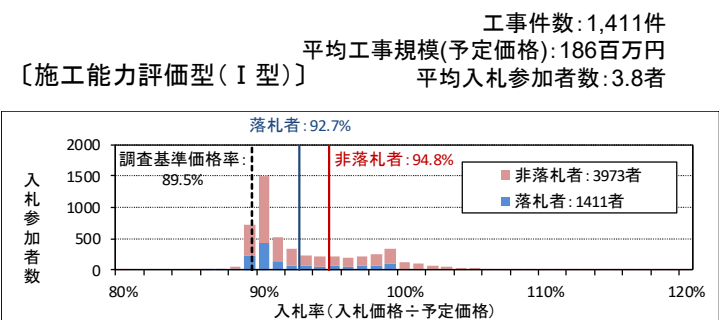
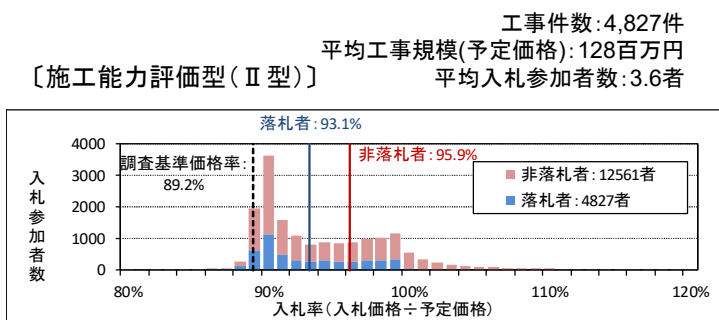
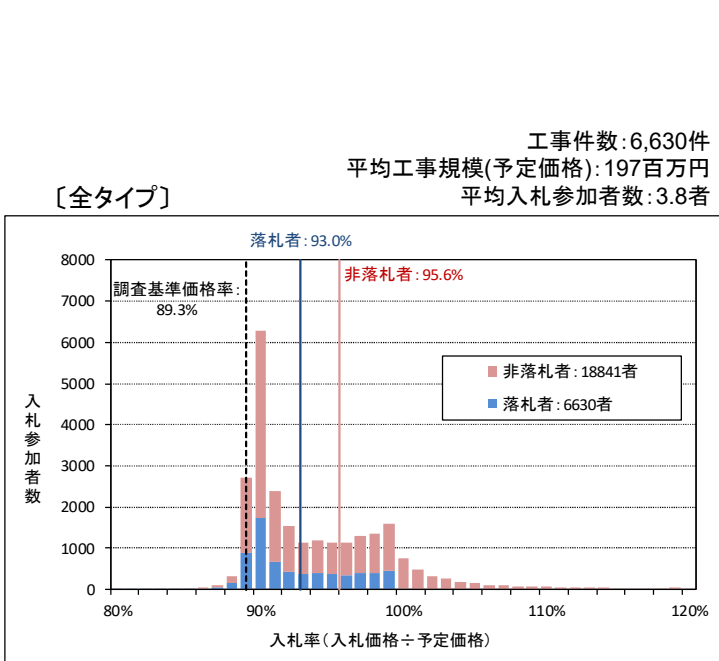
注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。

注3) 平均工事規模は、予定価格(税込)とする。

# 3. 落札率・入札率の状況

## ② 契約タイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)では、「入札率」の分布が他の契約タイプよりも調査基準価格付近に集中している。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
・港湾・空港関係工事  
・調査基準価格が設定されていない工事

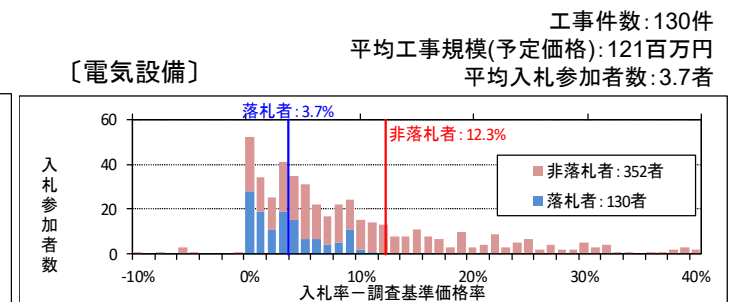
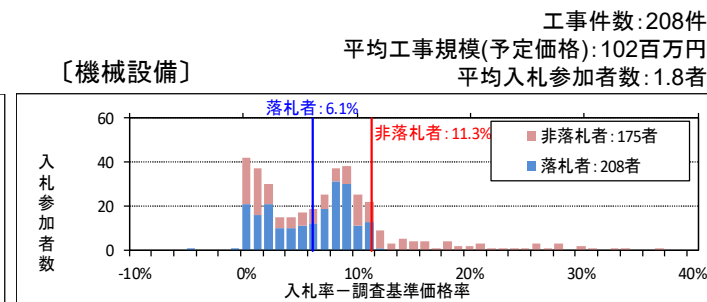
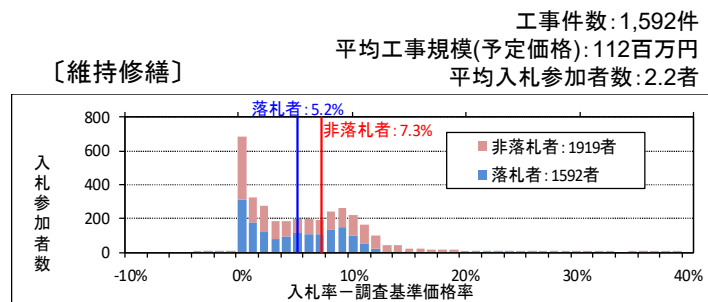
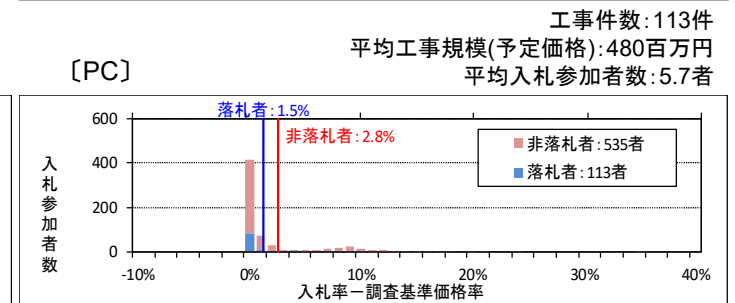
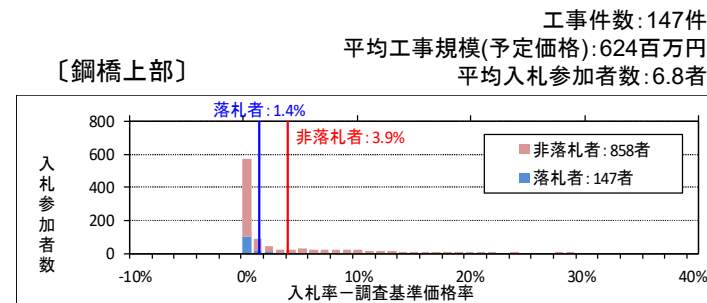
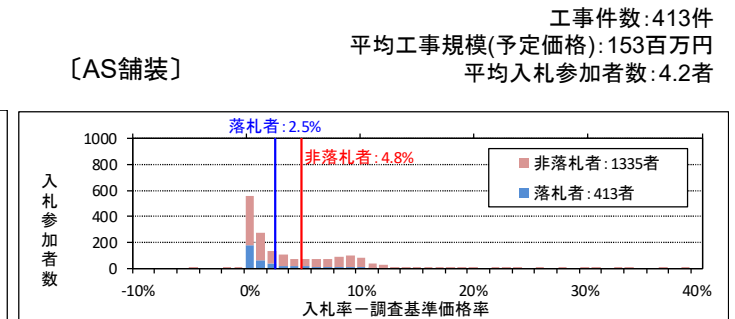
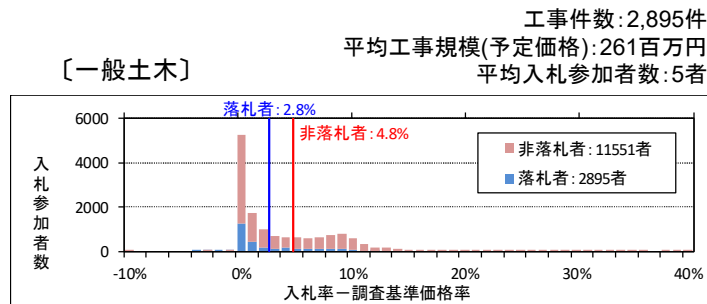
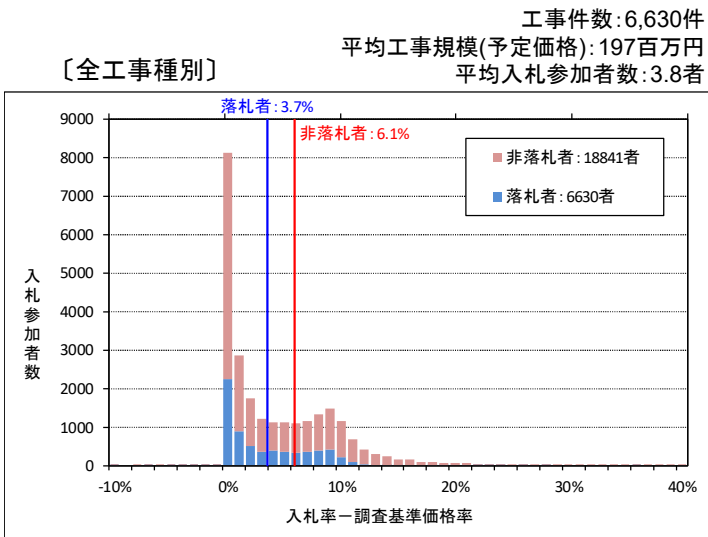
注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。  
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 3. 落札率・入札率の状況

## (5) 「入札率-調査基準価格率」の分布〔平成30年度〕

### ① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCでは、「入札率と調査基準価格率の差」の分布が他の工事種別よりも0%付近に集中している。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
 ・港湾・空港関係工事  
 ・調査基準価格が設定されていない工事

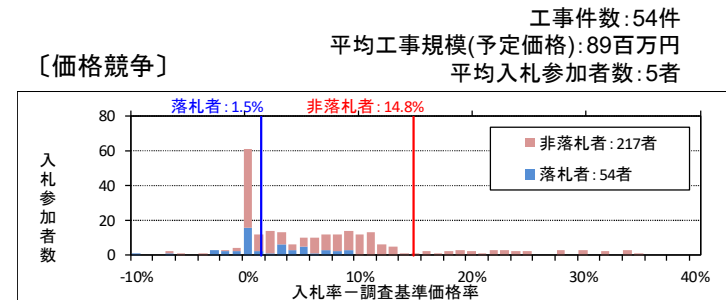
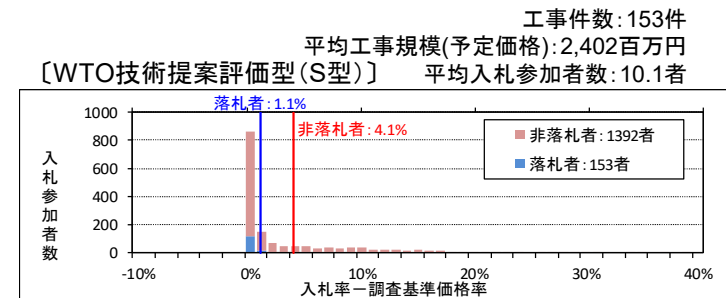
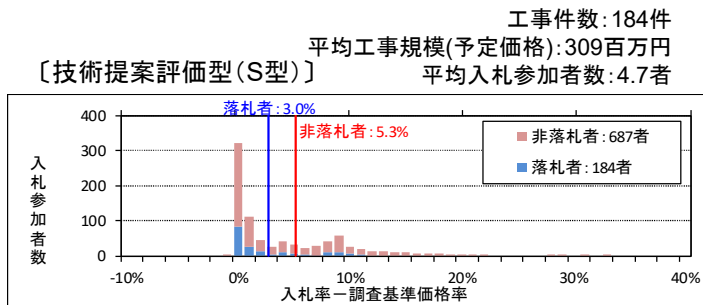
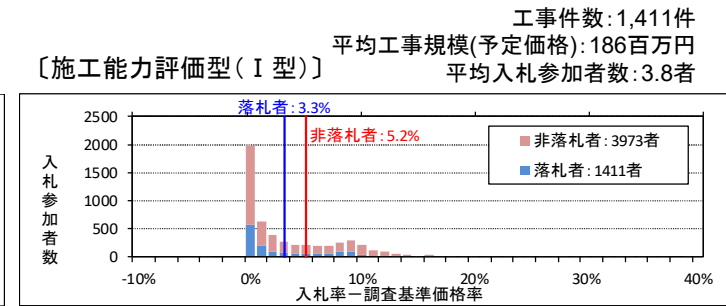
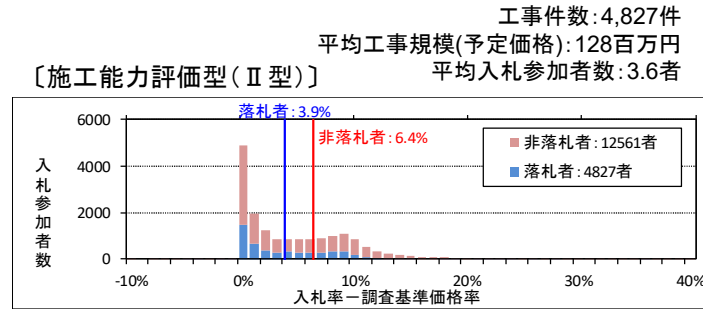
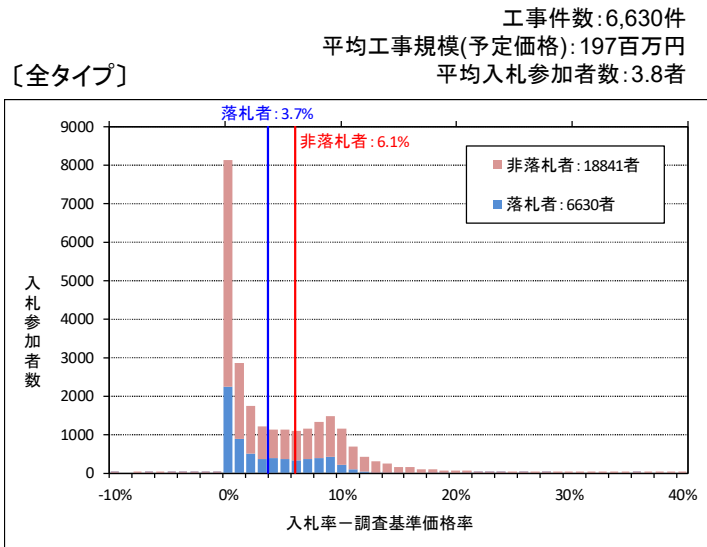
注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。  
 注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。



# 3. 落札率・入札率の状況

## ②契約タイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)では、「入札率と調査基準価格率の差」の分布が他の契約タイプよりも0%付近に集中している。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・調査基準価格が設定されていない工事

注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。

注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

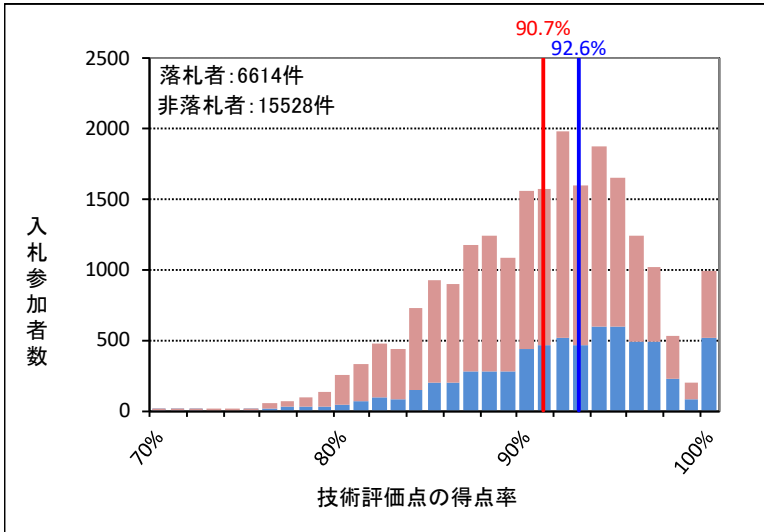


# 4. 技術評価の状況

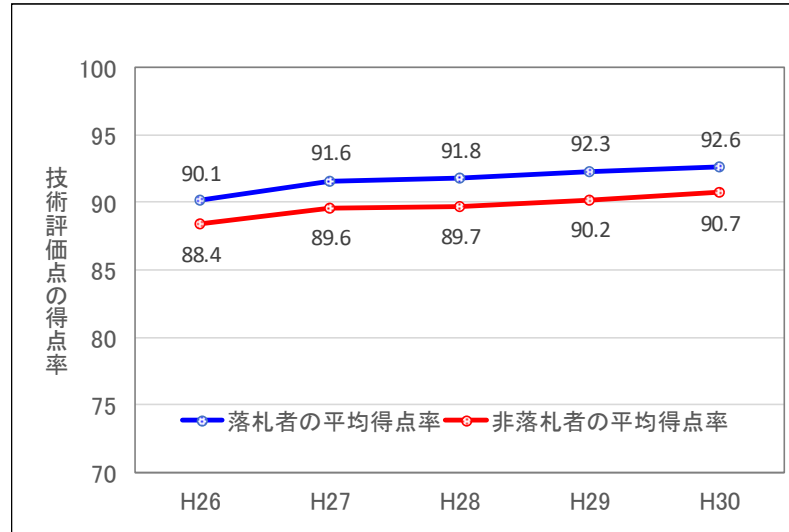
## (1) 入札参加者の技術評価点得点率分布〔経年の推移〕

■ 平成30年度の「技術評価点の得点率(技術評価点/技術評価点の満点)」は、落札者の平均92.6%、非落札者の平均90.7%となり、ともに平成29年度より高くなっている。

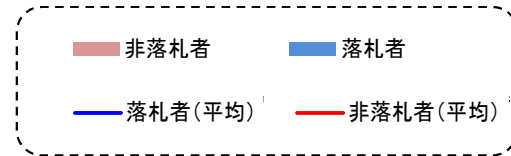
【平成30年度】



【平均得点率の経年変化】



〔凡例〕

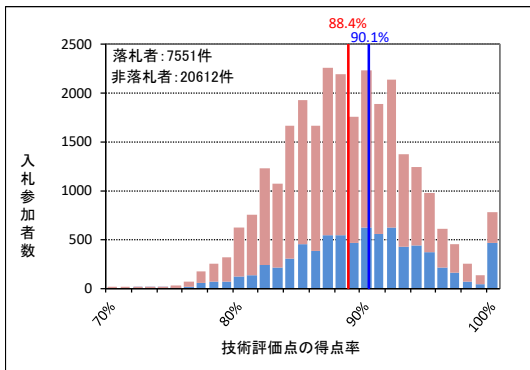


注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

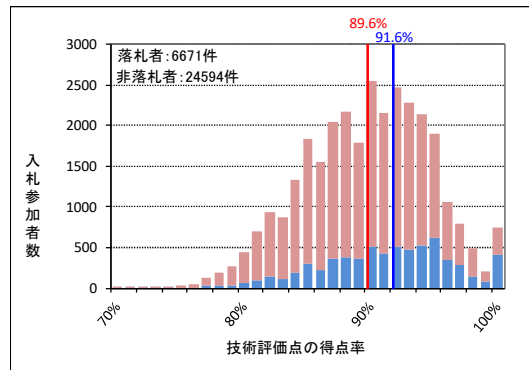
- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争

注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等及び予定価格超過者を除く。

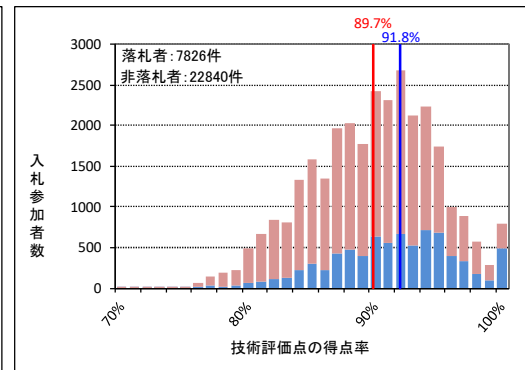
【平成26年度】



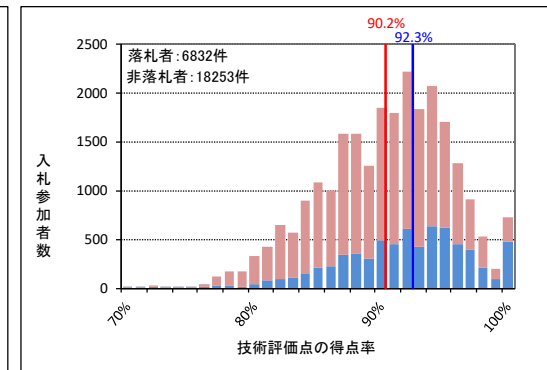
【平成27年度】



【平成28年度】



【平成29年度】

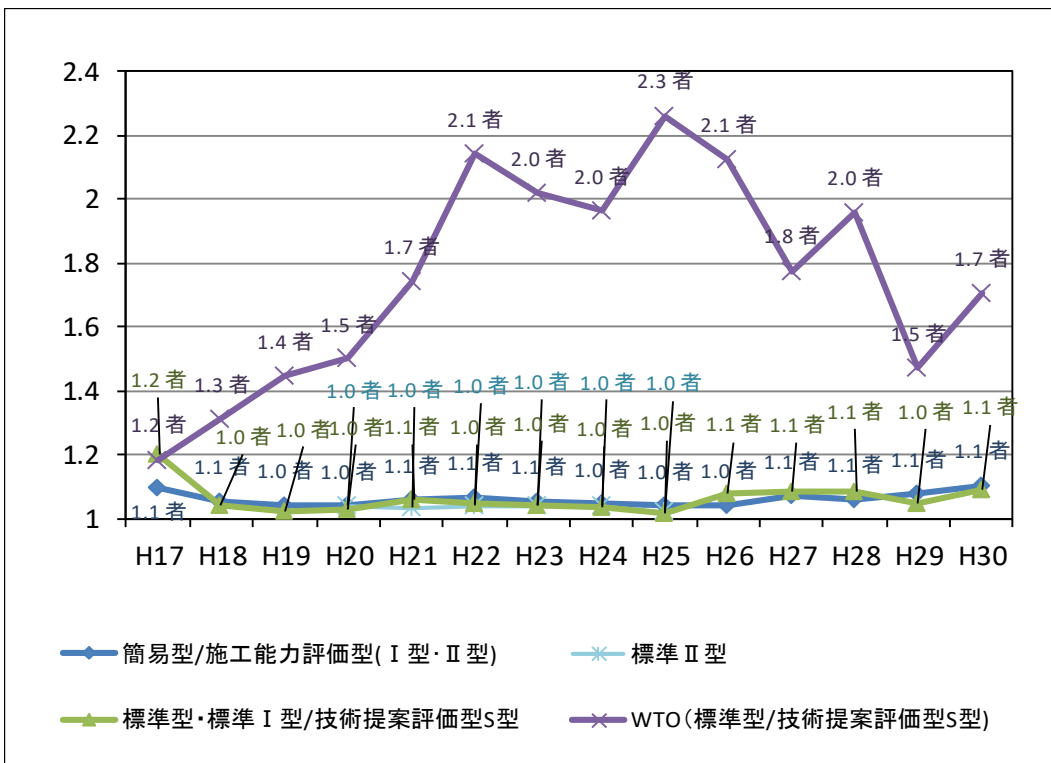


# 4. 技術評価の状況

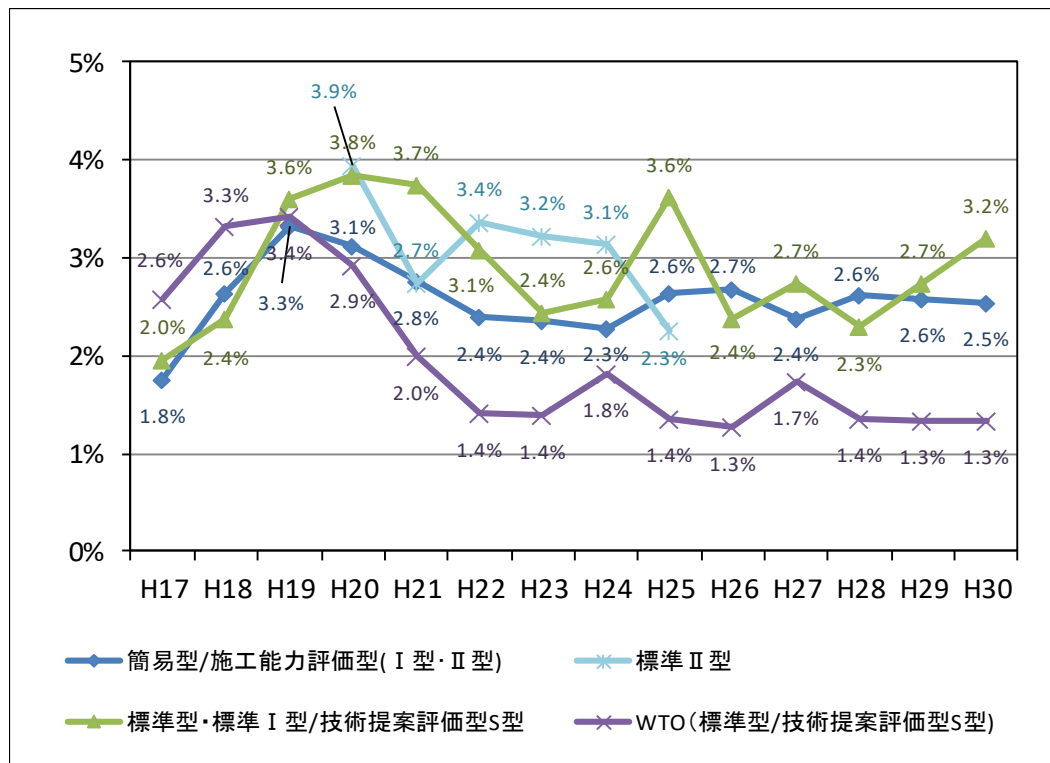
## (2) 技術評価点1位と2位の得点率の差・落札者と非落札者の得点率の差〔経年の推移〕

- WTO技術提案評価型(S型)の技術評価点1位同点者数は、平成30年度は1.7者で前年度より増加している。
- 平成30年度の「技術評価点1位と2位の得点差」は、技術提案評価型(S型)で平均3.2%、施工能力評価型で平均2.5%、WTO技術提案評価型(S型)は平均1.3%であり、WTO技術提案評価型(S型)が最も小さい。

【 技術評価点 1 位同点者数 】



【 技術評価点 1 位と 2 位の得点率の差 】



注1)8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
 ・港湾・空港関係工事 ・価格競争 ・高度技術提案型/技術提案評価型A型  
 ・加算方式の試行工事(平成19年度)

注2)技術評価点の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定

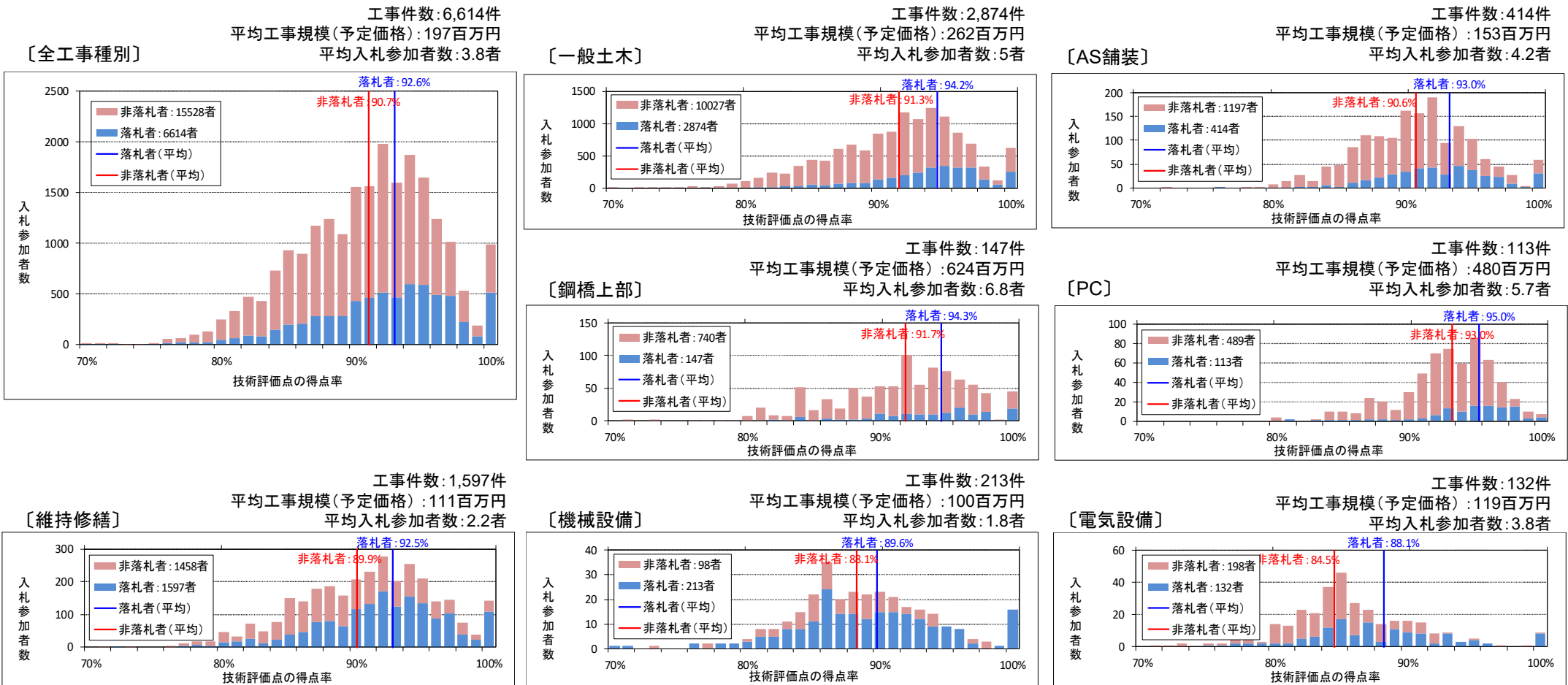
注3)以下の工事は比較から除いている。  
 ・予定価格内1者の案件(「技術評価点1位と2位の得点率の差」の集計)

# 4. 技術評価の状況

## (3) 入札参加者の技術評価点得点率の分布 [平成30年度]

### ① 工事種別別

- 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCの「技術評価点の得点率」は、落札者の平均が他の工事種別よりも高くなっている。
- 維持修繕、機械設備、電気設備では、得点率が低い範囲にも落札者が分布している。



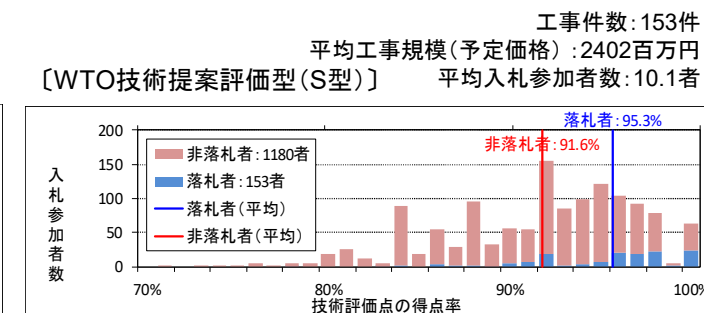
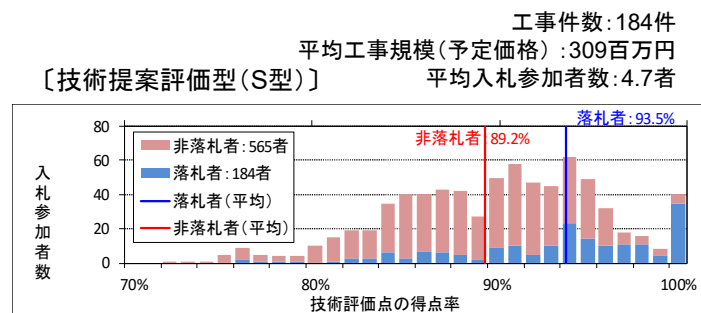
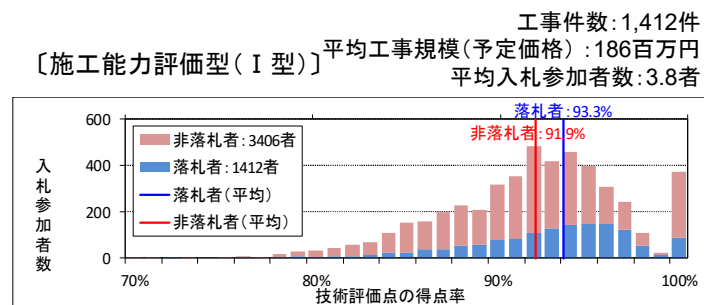
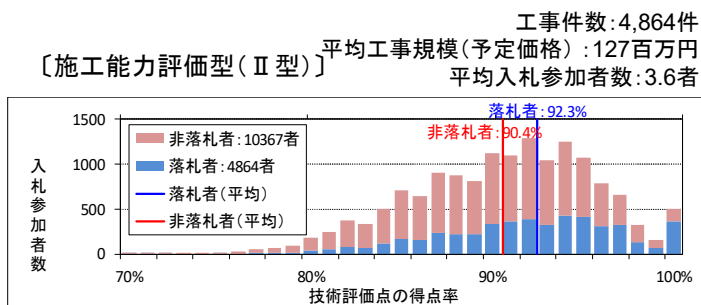
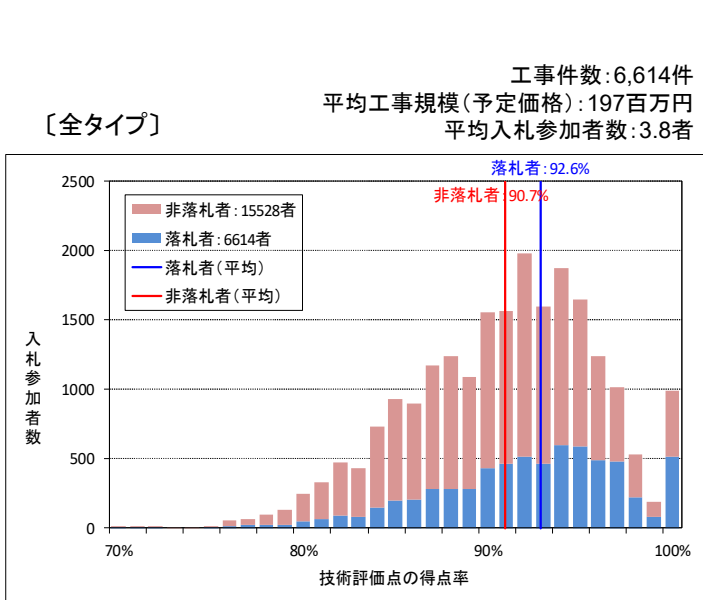
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) 入札参加者数は競争参加者数から無効・辞退等及び予定価格超過者を除く。ただし平均入札参加者数には予定価格超過者を含む。  
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 4. 技術評価の状況

## ②契約タイプ別

■ 「技術評価点の得点率」の平均は、施工能力評価型よりも技術提案評価型(S型)において落札者と非落札者の得点率の差が大きい。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) 入札参加者数は競争参加者数から無効・辞退等及び予定価格超過者を除く。ただし平均入札参加者数には予定価格超過者を含む。  
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

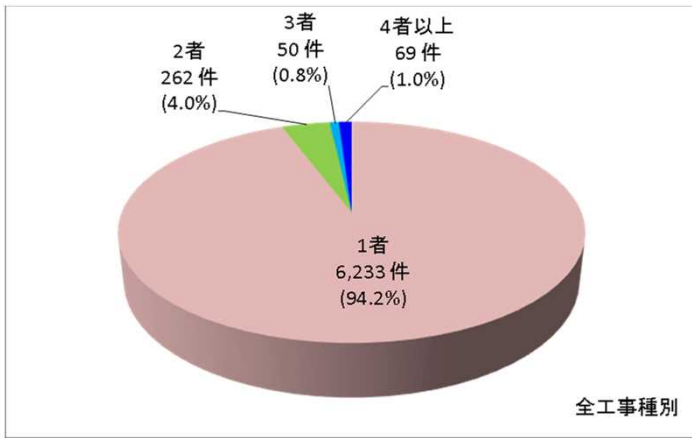
# 4. 技術評価の状況

## (4) 技術評価点1位同点者数〔平成30年度〕

### ① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCにおける「技術評価点1位同点者数」は、他の工事種別よりも2者以上の割合が多く、さらに鋼橋上部は、4者以上の割合も多い。

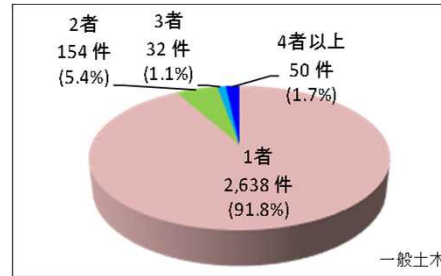
〔全工事種別〕



工事件数: 6,614件  
平均工事規模(予定価格): 197百万円  
平均入札参加者数: 3.8者

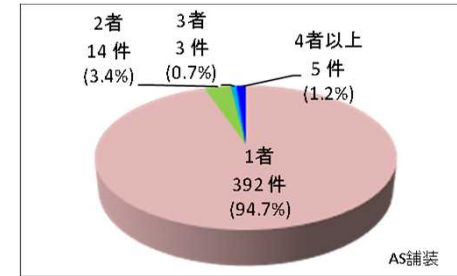
〔一般土木〕

工事件数: 2,874件  
平均工事規模  
(予定価格): 262百万円  
平均入札参加者数: 5者



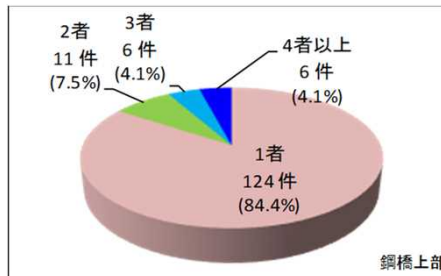
〔AS舗装〕

工事件数: 414件  
平均工事規模  
(予定価格): 153百万円  
平均入札参加者数: 4.2者



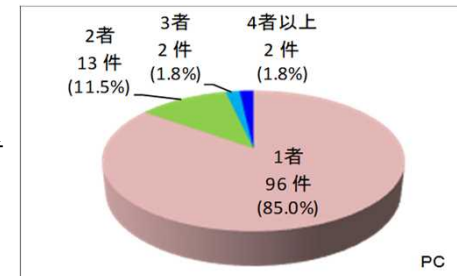
〔鋼橋上部〕

工事件数: 147件  
平均工事規模  
(予定価格): 624百万円  
平均入札参加者数: 6.8者



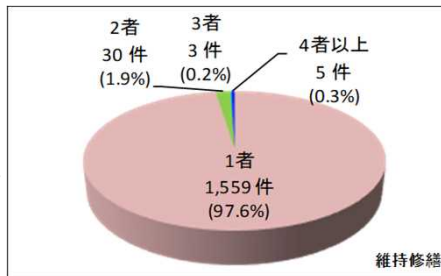
〔PC〕

工事件数: 113件  
平均工事規模  
(予定価格): 480百万円  
平均入札参加者数: 5.7者



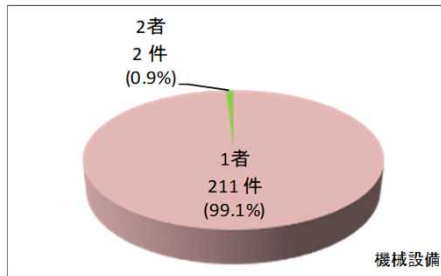
〔維持修繕〕

工事件数: 1,597件  
平均工事規模  
(予定価格): 111百万円  
平均入札参加者数: 2.2者



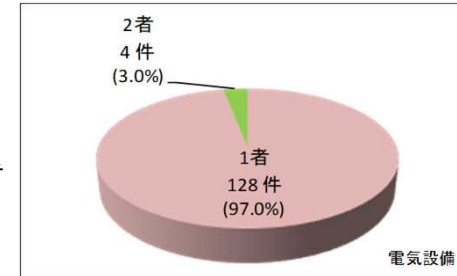
〔機械設備〕

工事件数: 213件  
平均工事規模  
(予定価格): 100百万円  
平均入札参加者数: 1.8者



〔電気設備〕

工事件数: 132件  
平均工事規模  
(予定価格): 119百万円  
平均入札参加者数: 3.8者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) 技術評価点1位同点者数は、競争参加者から無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。

注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

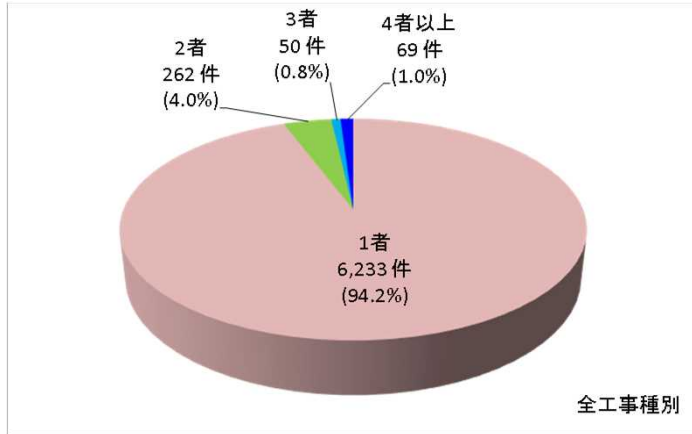


# 4. 技術評価の状況

## ② 契約タイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)における「技術評価点1位同点者数」は、他のタイプよりも2者以上の割合が多い。

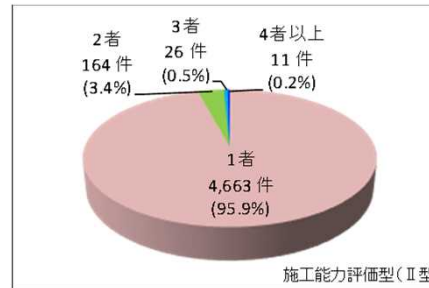
〔全タイプ〕



工事件数: 6,614件  
平均工事規模(予定価格): 197百万円  
平均入札参加者数: 3.8者

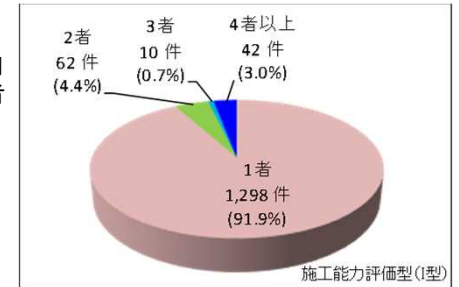
〔施工能力評価型(Ⅱ型)〕

工事件数: 4,864件  
平均工事規模  
(予定価格): 127百万円  
平均入札参加者数: 3.6者



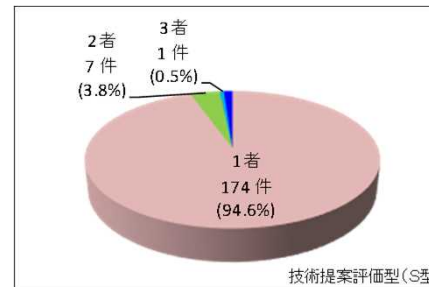
〔施工能力評価型(Ⅰ型)〕

工事件数: 1,412件  
平均工事規模  
(予定価格): 186百万円  
平均入札参加者数: 3.8者



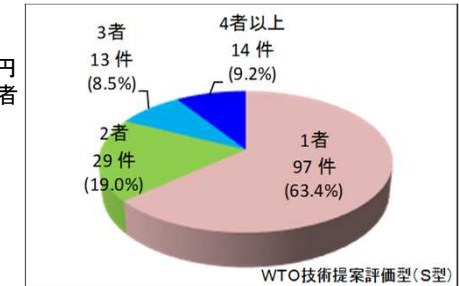
〔技術提案評価型(S型)〕

工事件数: 184件  
平均工事規模  
(予定価格): 309百万円  
平均入札参加者数: 4.7者



〔WTO技術提案評価型(S型)〕

工事件数: 153件  
平均工事規模  
(予定価格): 2402百万円  
平均入札参加者数: 10.1者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) 技術評価点1位同点者数は、競争参加者から無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。

注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

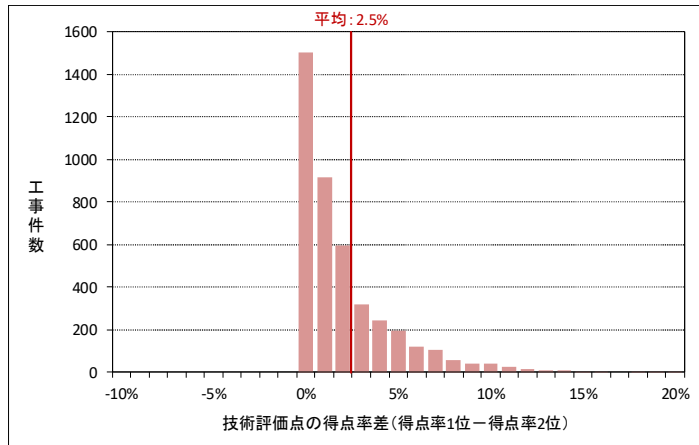
# 4. 技術評価の状況

## (5) 1位と2位の得点率の差の分布〔平成30年度〕

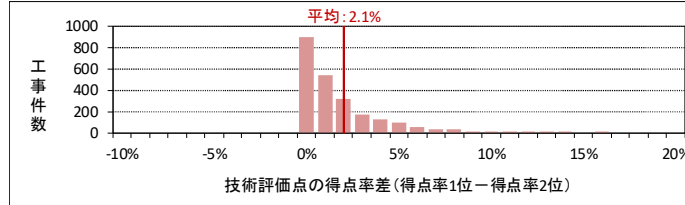
### ① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCにおける「技術評価点1位と2位の得点率の差」の平均は、他の工事種別と比べて小さい。

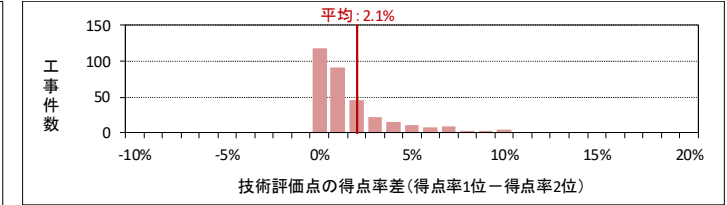
〔全工事種別〕  
 工事件数: 4, 221件  
 平均工事規模(予定価格): 242百万円  
 平均入札参加者数: 5.2者



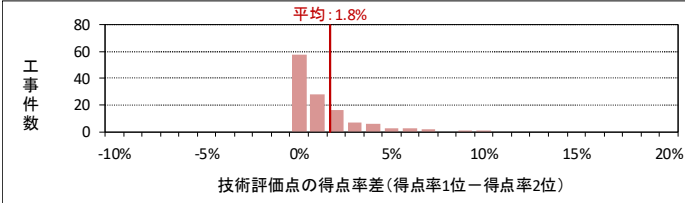
〔一般土木〕  
 工事件数: 2,289件  
 平均工事規模(予定価格): 288百万円  
 平均入札参加者数: 5.9者



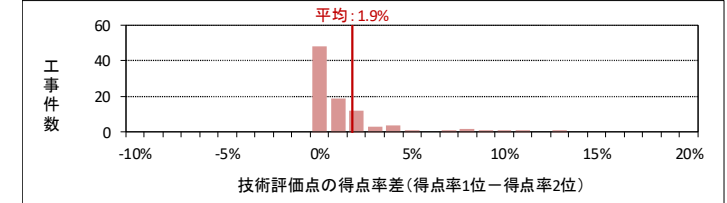
〔AS舗装〕  
 工事件数: 332件  
 平均工事規模(予定価格): 156百万円  
 平均入札参加者数: 4.9者



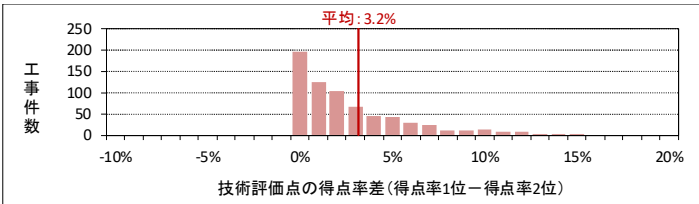
〔鋼橋上部〕  
 工事件数: 125件  
 平均工事規模(予定価格): 663百万円  
 平均入札参加者数: 7.7者



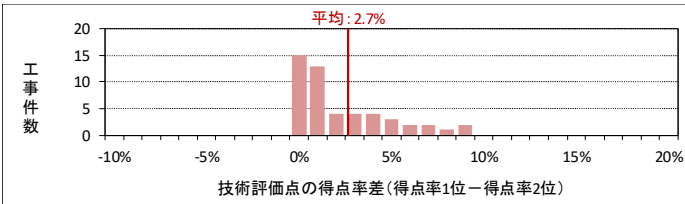
〔PC〕  
 工事件数: 94件  
 平均工事規模(予定価格): 544百万円  
 平均入札参加者数: 6.7者



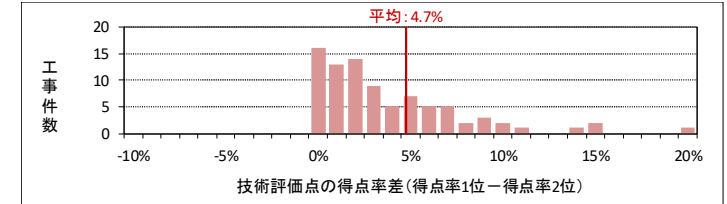
〔維持修繕〕  
 工事件数: 684件  
 平均工事規模(予定価格): 109百万円  
 平均入札参加者数: 3.5者



〔機械設備〕  
 工事件数: 50件  
 平均工事規模(予定価格): 198百万円  
 平均入札参加者数: 3.9者



〔電気設備〕  
 工事件数: 88件  
 平均工事規模(予定価格): 141百万円  
 平均入札参加者数: 4.7者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
 ・港湾・空港関係工事  
 ・価格競争  
 ・予定価格内1者の案件

注2) 得点率の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。  
 ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。

注3) 平均工事規模は、予定価格(税込)とする。

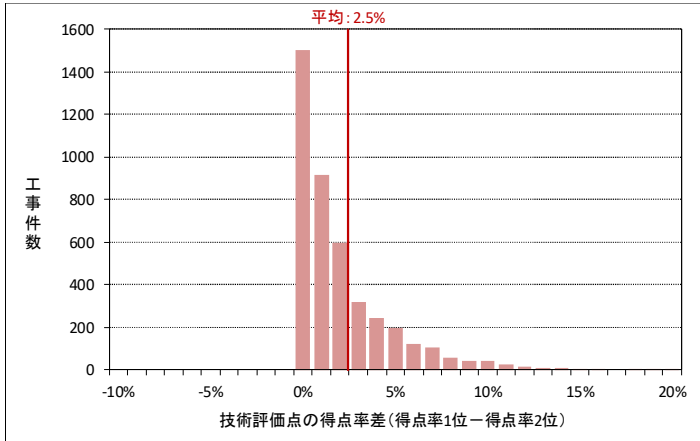


# 4. 技術評価の状況

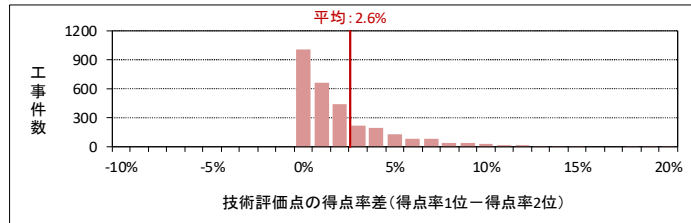
## ② 契約タイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)における「技術評価点1位と2位の得点率の差」の平均は、他のタイプと比べて小さい。

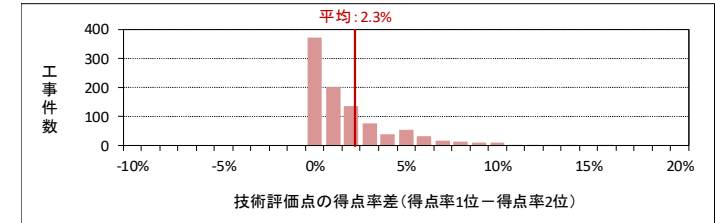
〔全タイプ〕  
工事件数: 4,221件  
平均工事規模(予定価格): 242百万円  
平均入札参加者数: 5.2者



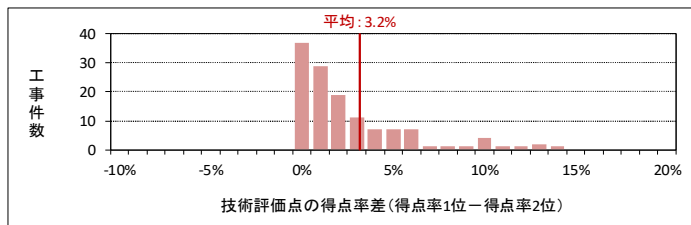
〔施工能力評価型(Ⅱ型)〕  
工事件数: 2,974件  
平均工事規模(予定価格): 143百万円  
平均入札参加者数: 5者



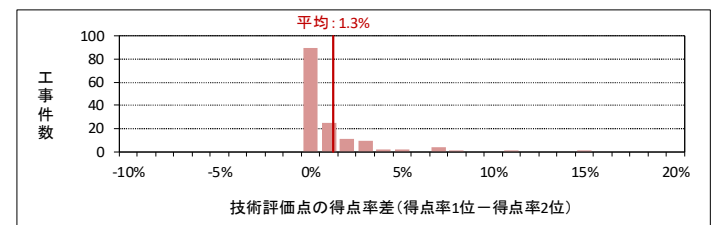
〔施工能力評価型(Ⅰ型)〕  
工事件数: 970件  
平均工事規模(予定価格): 198百万円  
平均入札参加者数: 4.9者



〔技術提案評価型(S型)〕  
工事件数: 130件  
平均工事規模(予定価格): 370百万円  
平均入札参加者数: 6.2者



〔WTO技術提案評価型(S型)〕  
工事件数: 146件  
平均工事規模(予定価格): 2,457百万円  
平均入札参加者数: 10.5者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
・港湾・空港関係工事  
・価格競争  
・予定価格内1者の案件

注2) 得点率の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。  
ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。

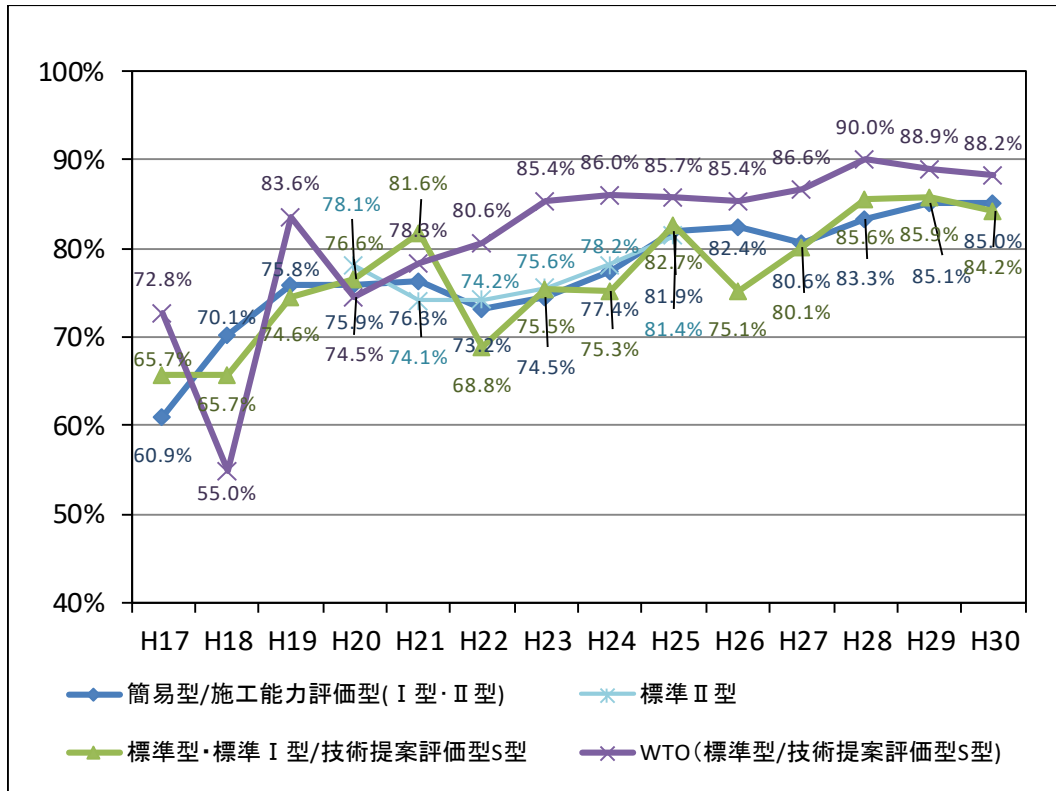
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 5. 総合評価の特徴

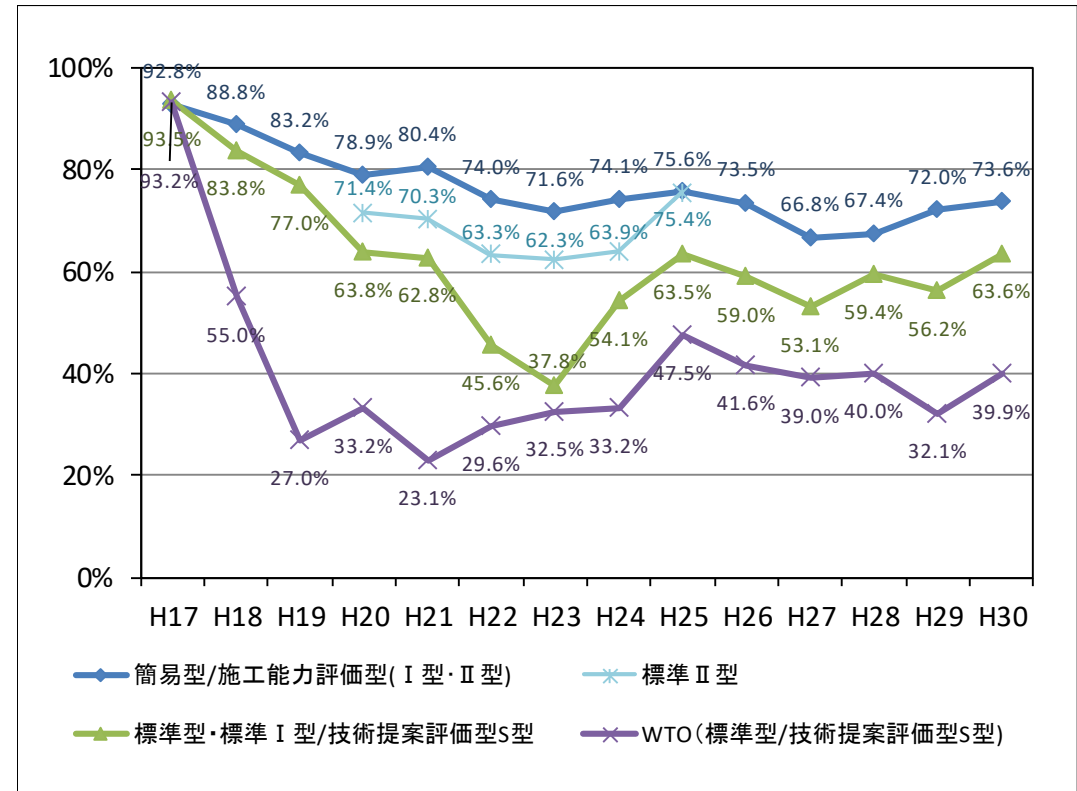
## (1) 落札者に占める技術評価点の最高得点者及び最低価格者の割合〔経年変化〕

- 落札者に占める技術評価点の最高得点者の割合は、施工能力評価型で平成30年度は85.0%、技術提案評価型(S型)で84.2%であり、前年度より減少している。
- 落札者に占める最低価格者の割合は、WTO技術提案評価型(S型)では平成30年度39.9%で前年度より増加している。

【 落札者に占める技術評価点の最高得点者の割合 】



【 落札者に占める最低価格者の割合 】

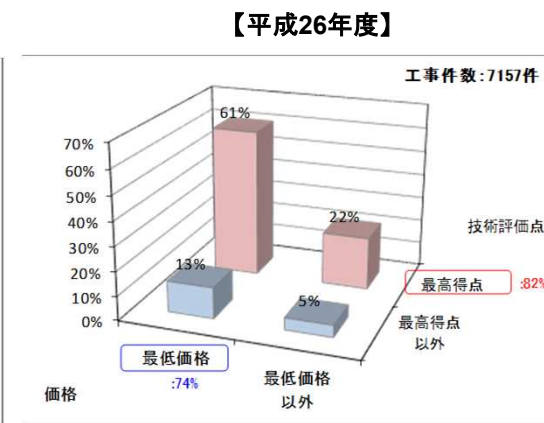
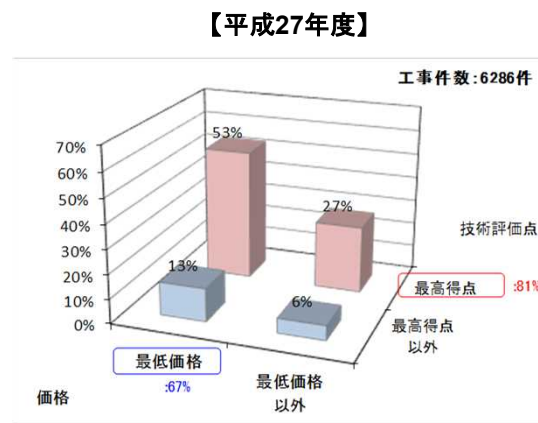
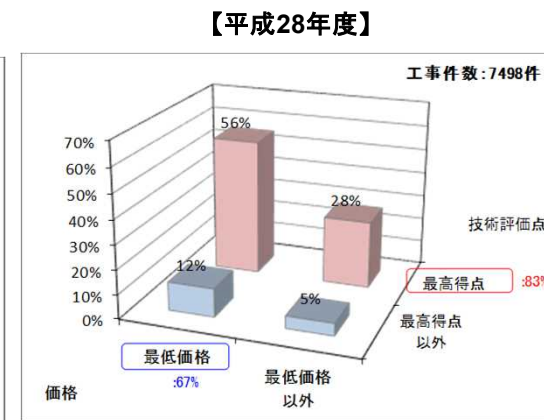
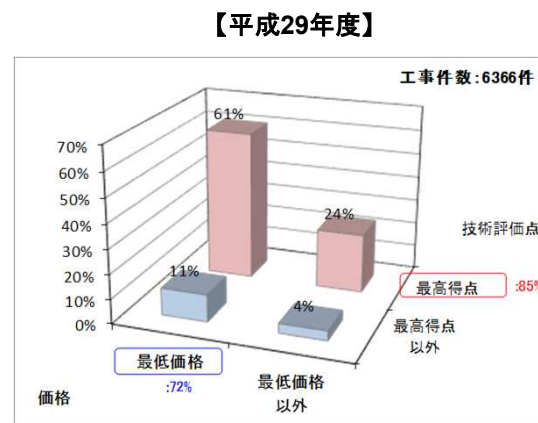
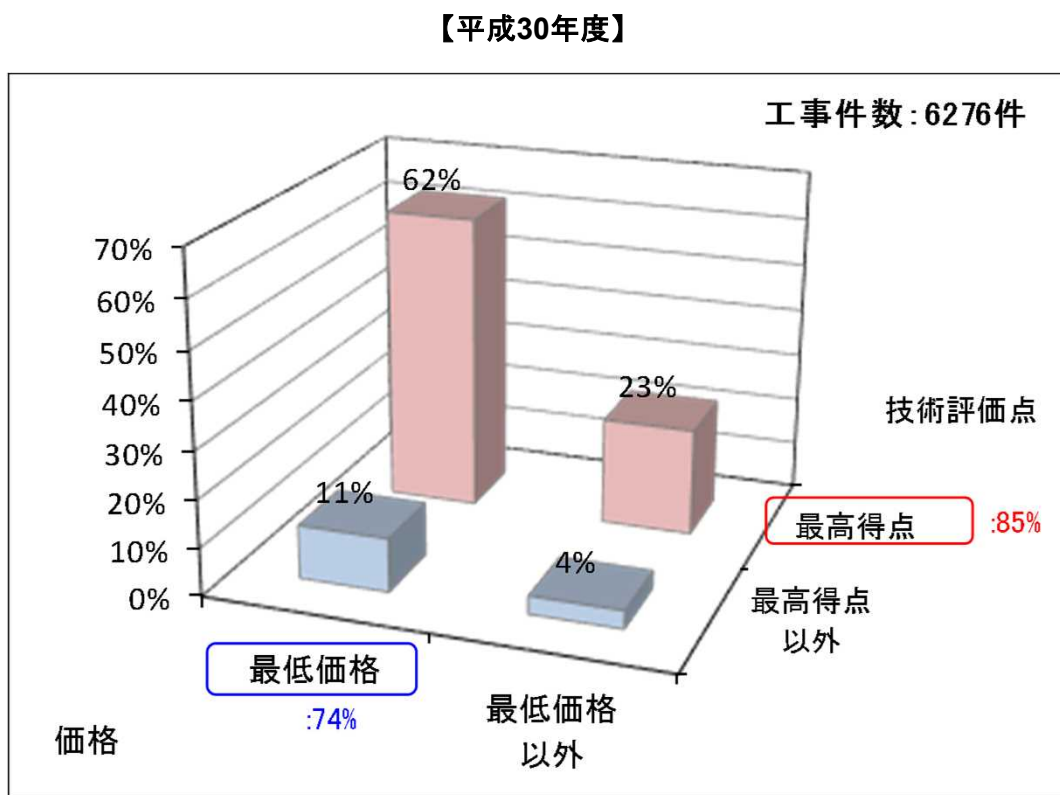


注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象。  
 ・港湾・空港関係工事 ・価格競争 ・高度技術提案型/技術提案評価型A型 ・加算方式の試行工事(平成19年度)  
 注2) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。 - 21 -

# 5. 総合評価の特徴

## (2) 落札者に占める技術評価点の最高得点者・最高得点者以外、最低価格者・最低価格者以外の割合〔施工能力評価型〕〔経年変化〕

- 落札者に占める「技術評価点の最高得点者の割合」は、平成30年度は85%で平成29年度から増減はない。
- 落札者に占める「最低価格者の割合」は、平成29年度の72%から平成30年度は74%に上昇している。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) 施工能力評価型には二極化前の簡易型を含む

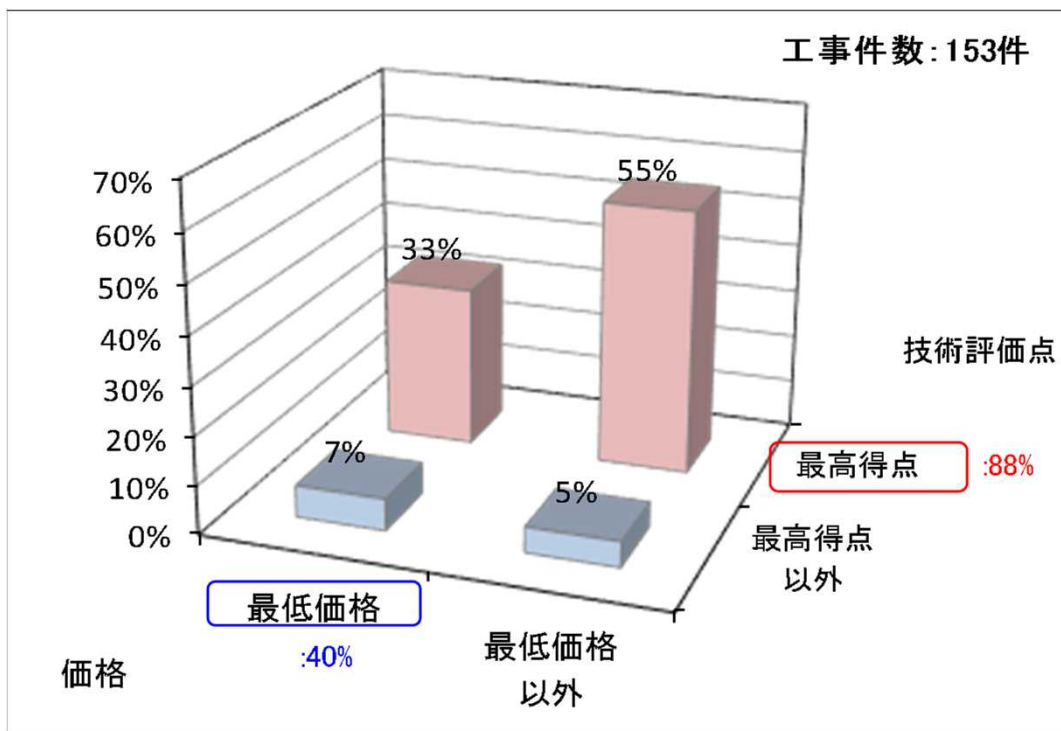
注3) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

# 5. 総合評価の特徴

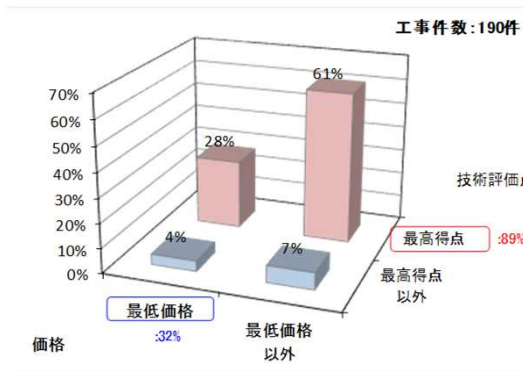
## (3) 落札者に占める技術評価点の最高得点者・最高得点者以外、最低価格者・最低価格者以外の割合 [WTO技術提案評価型(S型)] [経年変化]

- WTO技術提案評価型(S型)の落札者に占める「技術評価点の最高得点者の割合」は、平成25年度以降85%~90%で推移している。
- 落札者に占める「最低価格者の割合」は、平成30年度は40%となっている。

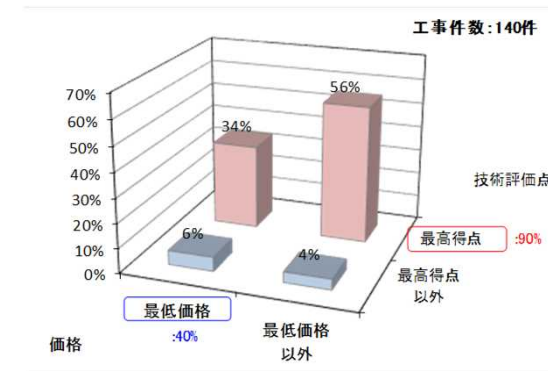
【平成30年度】



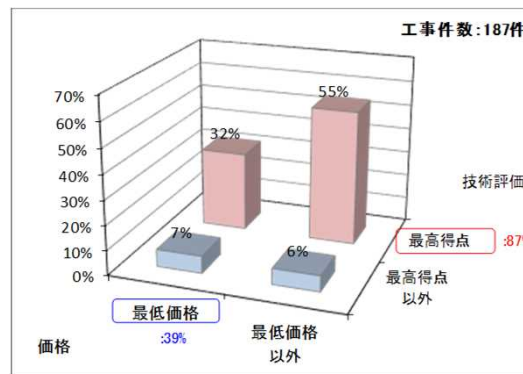
【平成29年度】



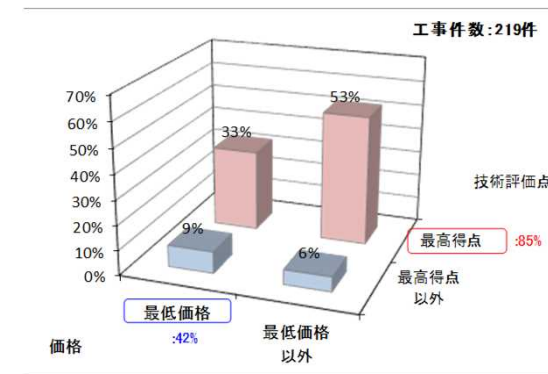
【平成28年度】



【平成27年度】



【平成26年度】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) WTO技術提案評価型(S型)には二極化前のWTO標準型も含む

注3) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

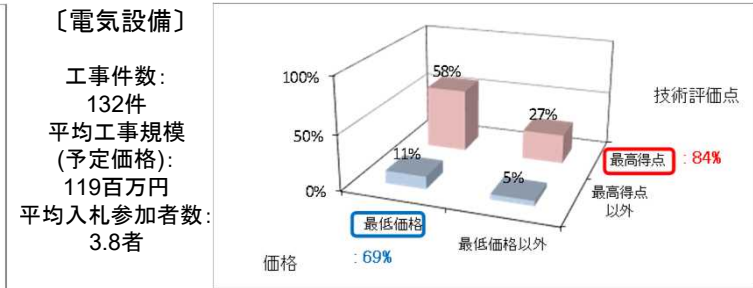
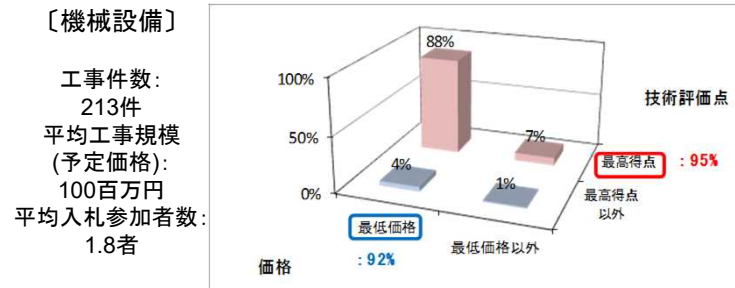
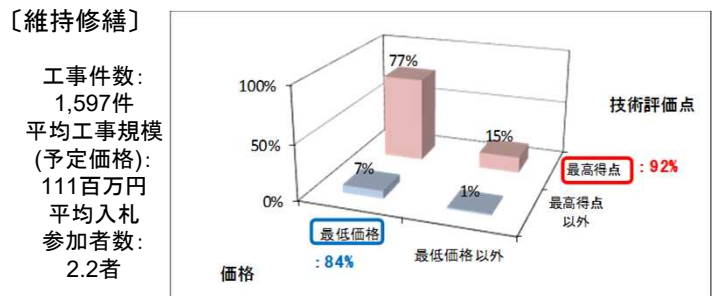
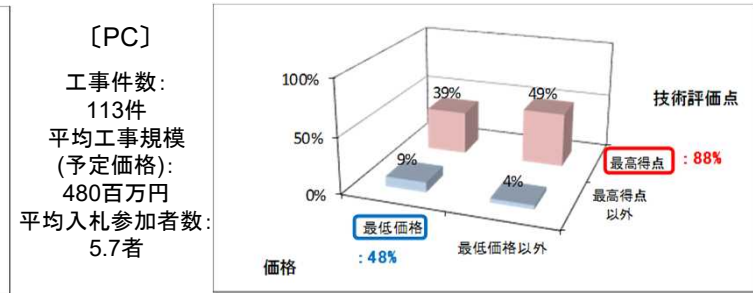
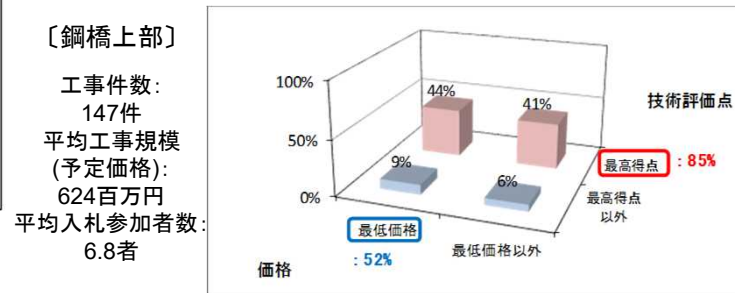
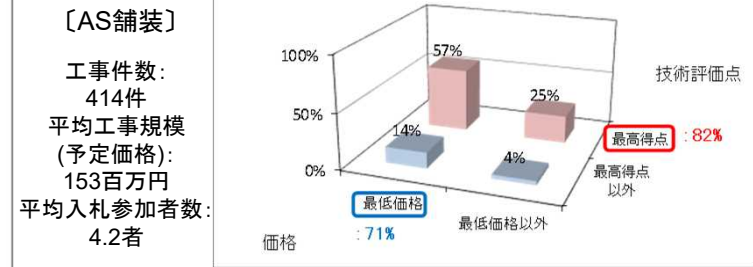
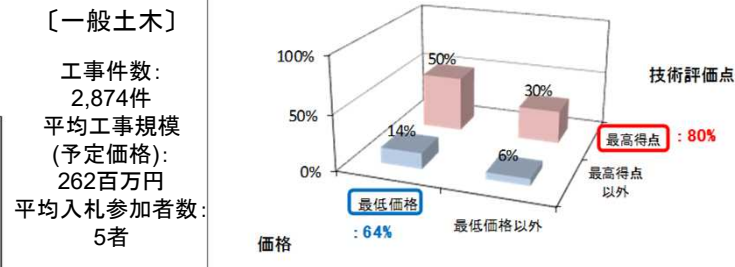
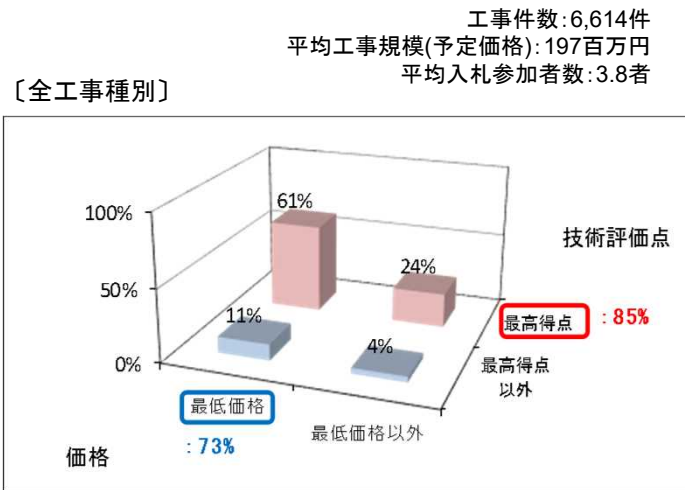


# 5. 総合評価の特徴

## (4) 落札者の内訳〔平成30年度〕

### ① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、維持修繕、機械設備、電気設備における「落札者の内訳」は、最高得点かつ最低価格の者が落札する割合が高く、鋼橋上部、PCでは最高得点かつ最低価格以外の者が落札する割合が高くなっている。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
・港湾・空港関係工事 ・価格競争

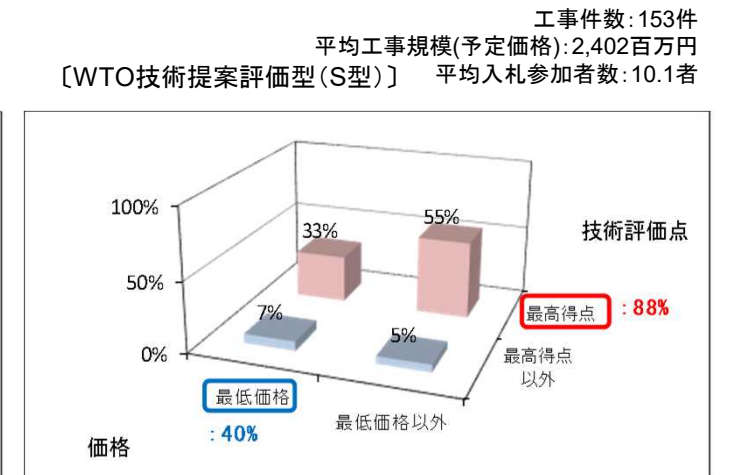
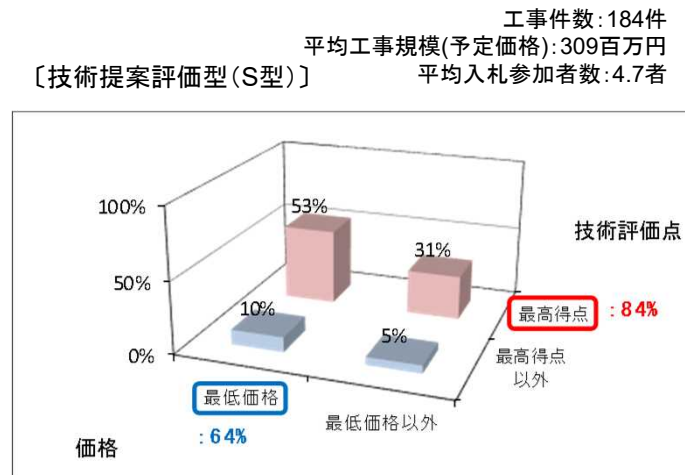
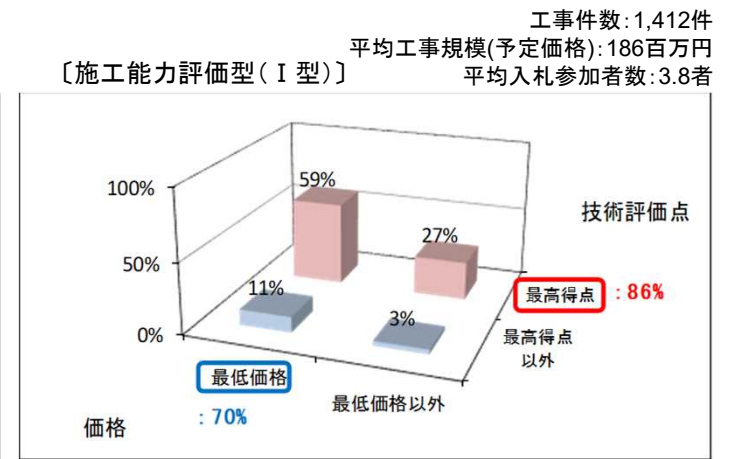
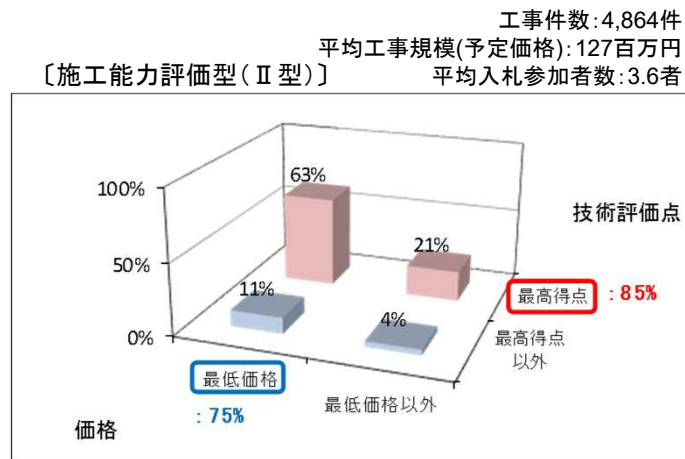
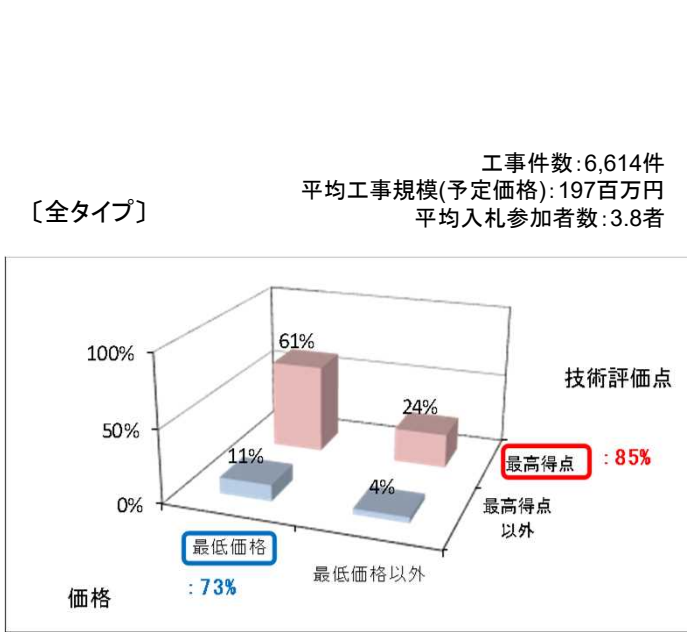
注2) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

注3) 平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。  
注4) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 5. 総合評価の特徴

## ② 契約タイプ別

■ 施工能力評価型、技術提案評価型(S型)における「落札者の内訳」は、最高得点かつ最低価格の者が落札する割合が高く、WTO技術提案評価型(S型)は、最高得点かつ最低価格以外の者が落札する割合が高くなっている。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

注3) 平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。

注4) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 5. 総合評価の特徴

## (5) 落札者の技術評価点と落札価格の状況〔経年変化〕

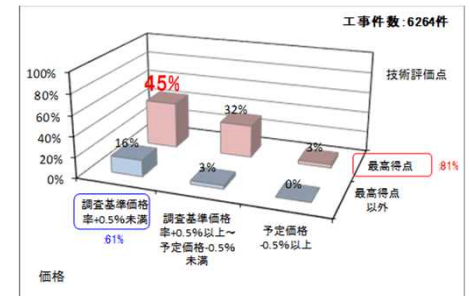
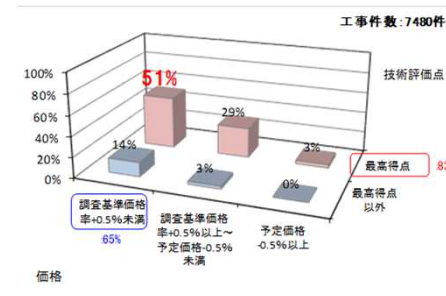
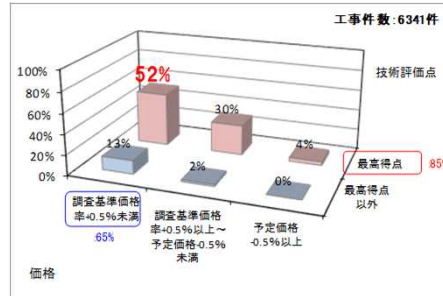
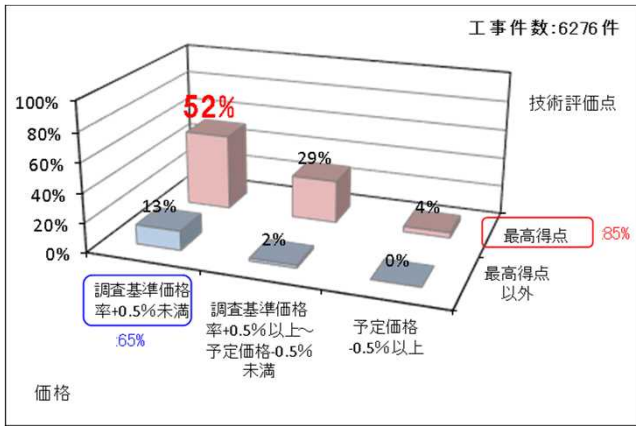
■ 技術評価点の最高得点者が調査基準価格付近(落札率が調査基準価格率+0.5%未満)の価格で落札する割合は、WTO技術提案評価型(S型)で83%となっている。

【平成30年度】

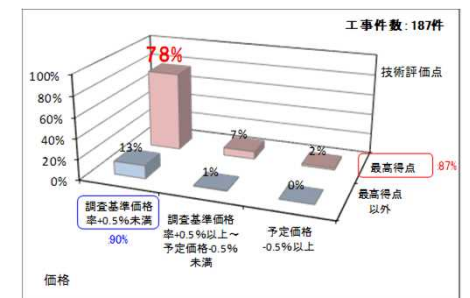
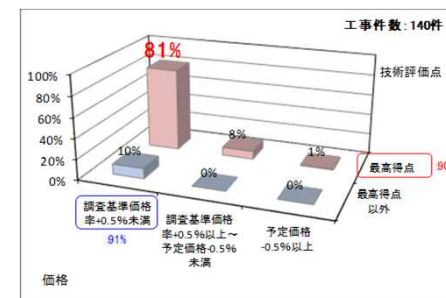
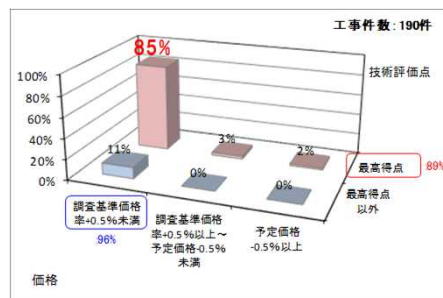
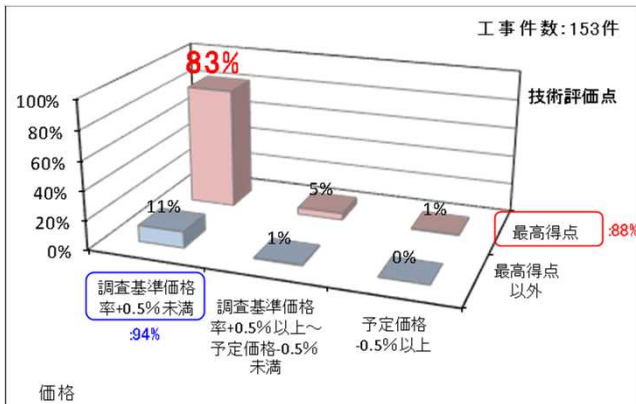
【平成29年度】

【平成28年度】

【平成27年度】



〔施工能力評価型〕



〔WTO技術提案評価型(S型)〕

注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) 施工能力評価型には二極化前の簡易型を含む  
注3) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

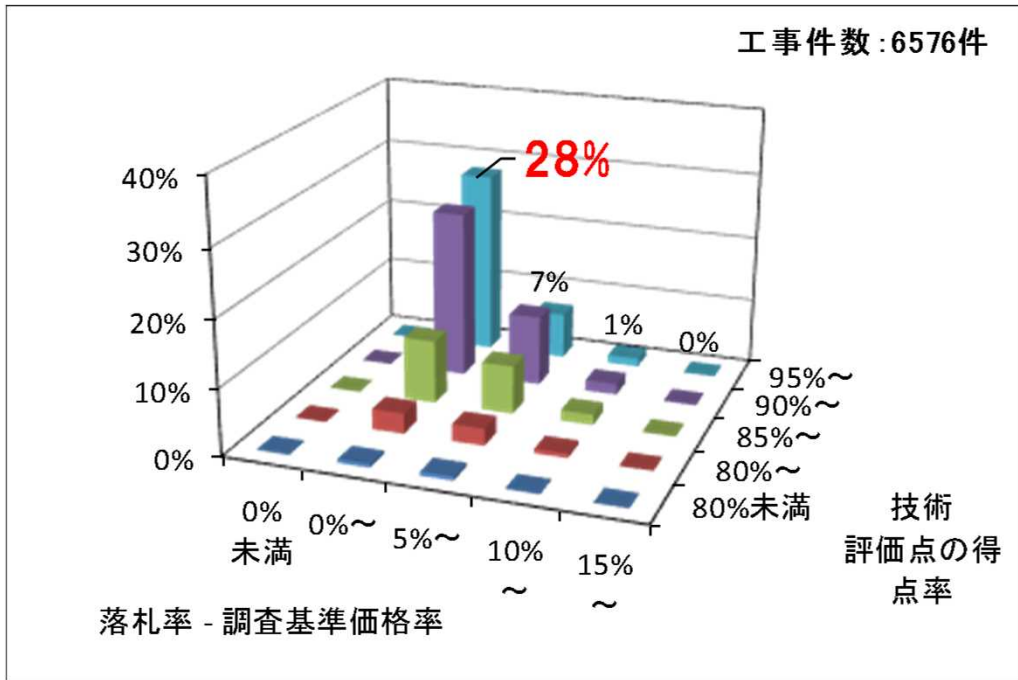


# 5. 総合評価の特徴

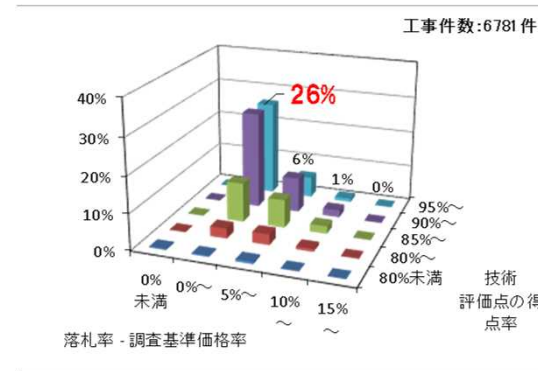
## (6) 落札者の「落札率－調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」〔経年変化〕

■ 「技術評価点の得点率」が95%以上で「落札率－調査基準価格率」が0%以上5%未満の落札者は、平成29年度の26%から平成30年度は28%となっている。

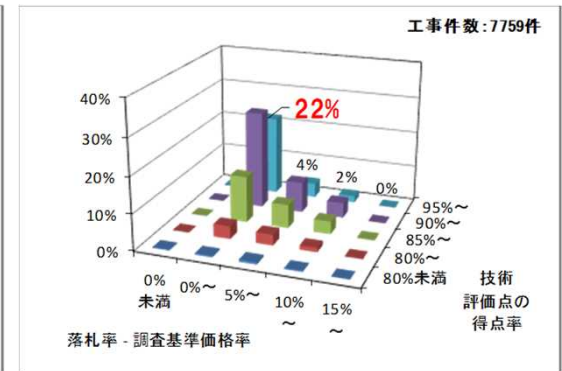
【平成30年度】



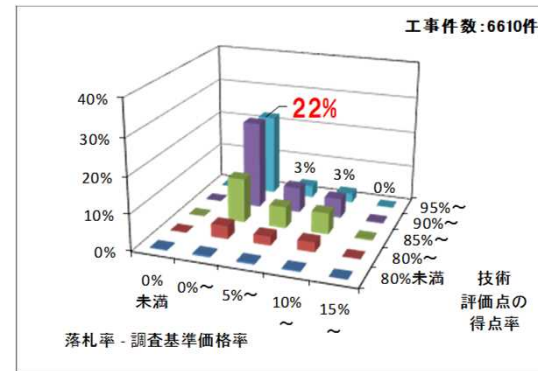
【平成29年度】



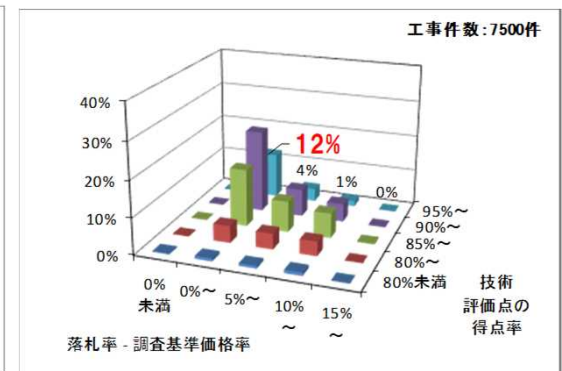
【平成28年度】



【平成27年度】



【平成26年度】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・調査基準価格が設定されていない工事

# 5. 総合評価の特徴

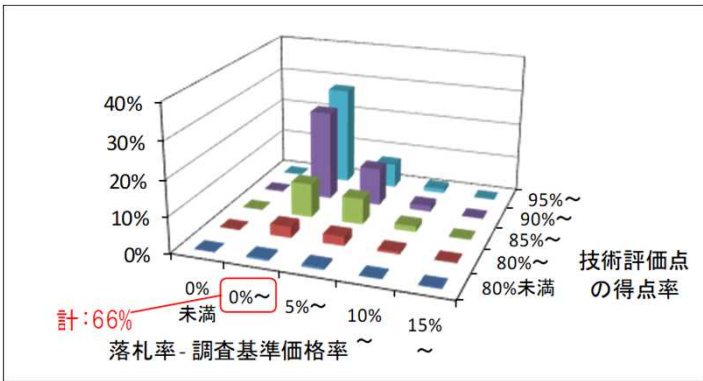
## (7) 落札者の「落札率-調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」〔平成30年度〕

### ① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCでは「落札率-調査基準価格率」が0%以上5%未満の落札者が多く、鋼橋上部は90%、PCは89%となっている。

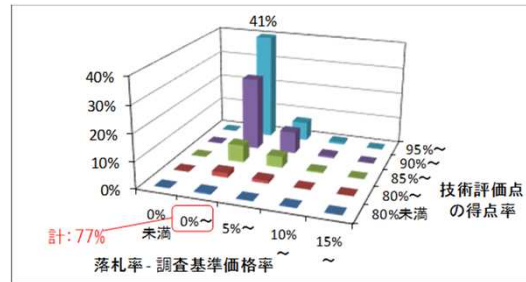
〔全工事種別〕

工事件数: 6,576件  
平均工事規模(予定価格): 198百万円  
平均入札参加者数: 3.8者



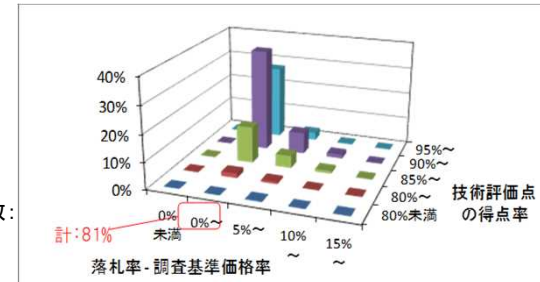
〔一般土木〕

工事件数: 2,873件  
平均工事規模(予定価格): 262百万円  
平均入札参加者数: 5者



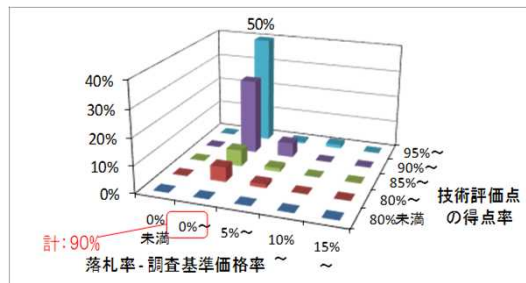
〔AS舗装〕

工事件数: 413件  
平均工事規模(予定価格): 153百万円  
平均入札参加者数: 4.2者



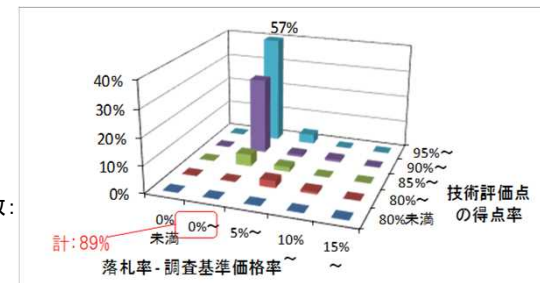
〔鋼橋上部〕

工事件数: 147件  
平均工事規模(予定価格): 624百万円  
平均入札参加者数: 6.8者



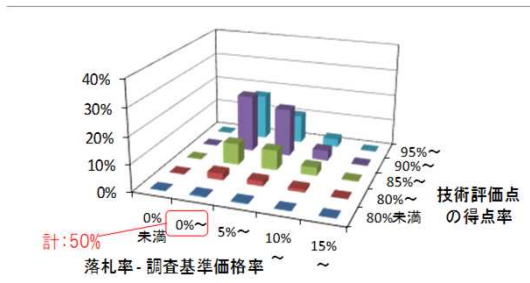
〔PC〕

工事件数: 113件  
平均工事規模(予定価格): 480百万円  
平均入札参加者数: 5.7者



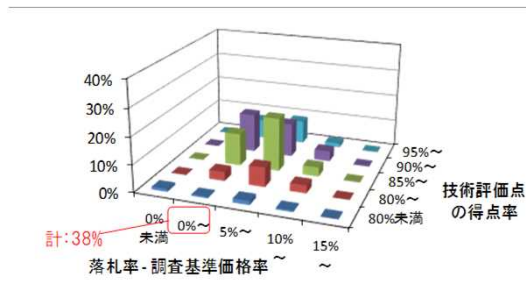
〔維持修繕〕

工事件数: 1,589件  
平均工事規模(予定価格): 112百万円  
平均入札参加者数: 2.2者



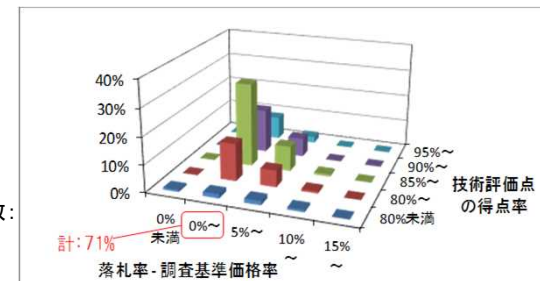
〔機械設備〕

工事件数: 208件  
平均工事規模(予定価格): 102百万円  
平均入札参加者数: 1.8者



〔電気設備〕

工事件数: 130件  
平均工事規模(予定価格): 121百万円  
平均入札参加者数: 3.7者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・調査基準価格が設定されていない工事

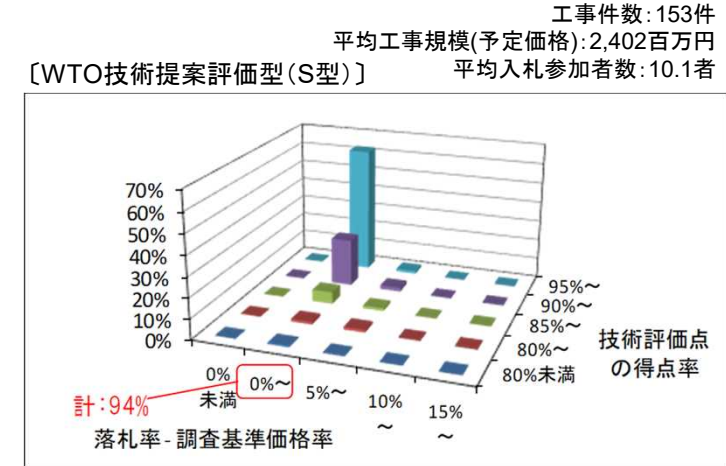
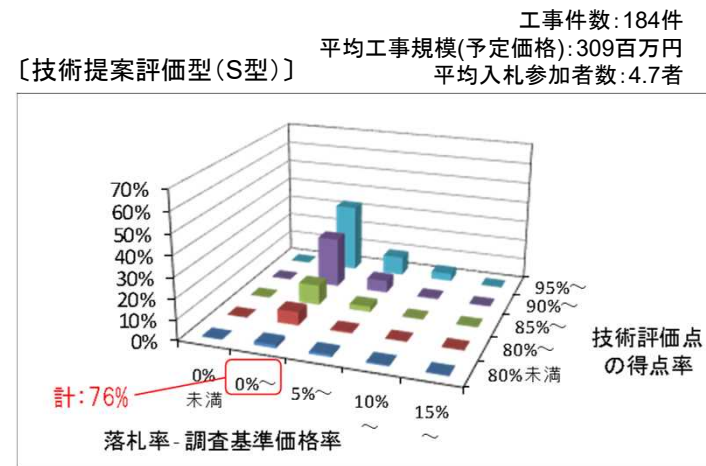
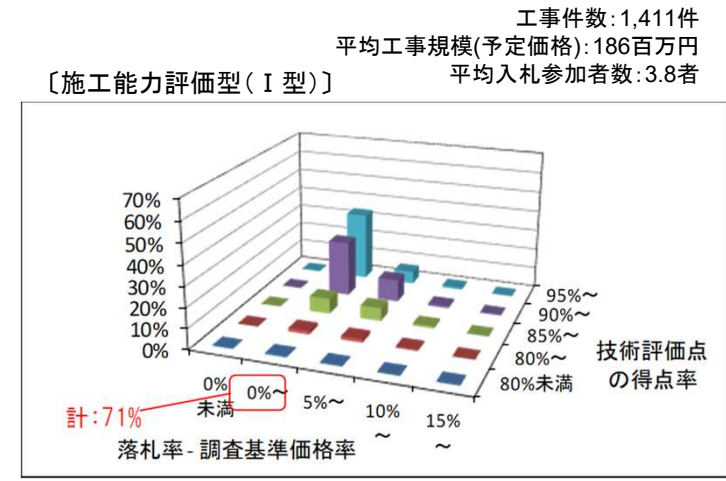
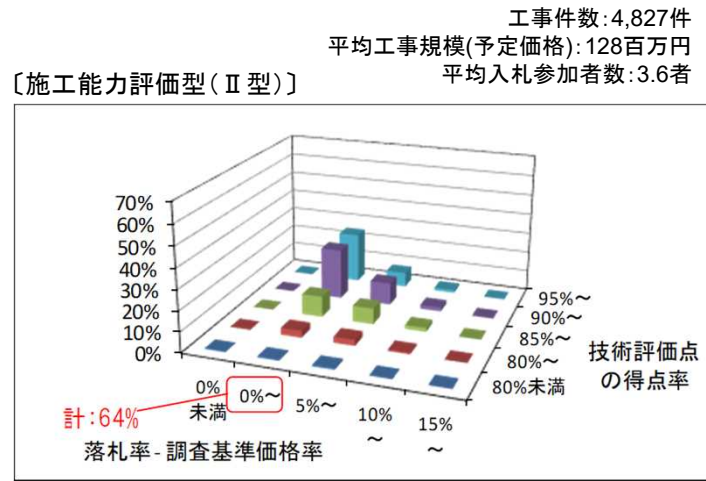
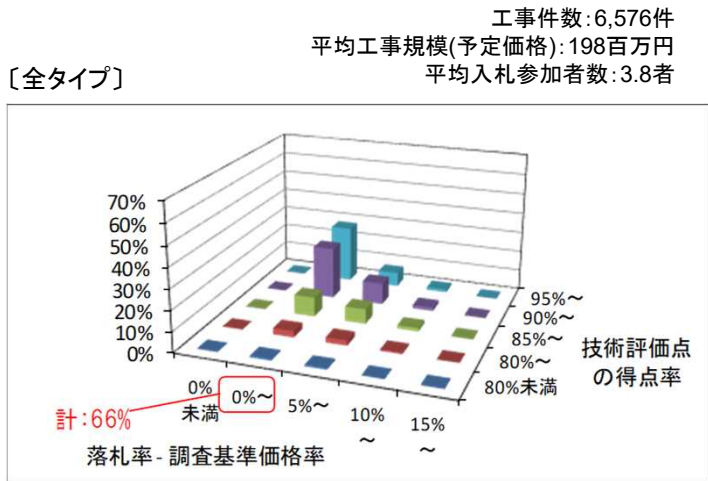
注2) 平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。  
・予定価格超過者は含む。

注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 5. 総合評価の特徴

## ② 契約タイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)は、落札者の94%が「落札率-調査基準価格率」が0%以上5%未満であり、「技術評価点の得点率」が95%以上の落札者が多くになっている。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
 ・港湾・空港関係工事  
 ・価格競争  
 ・調査基準価格が設定されていない工事

注2) 平均入札参加者数は、  
 ・競争参加者数から無効・辞退等を除く。  
 ・予定価格超過者は含む。

注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

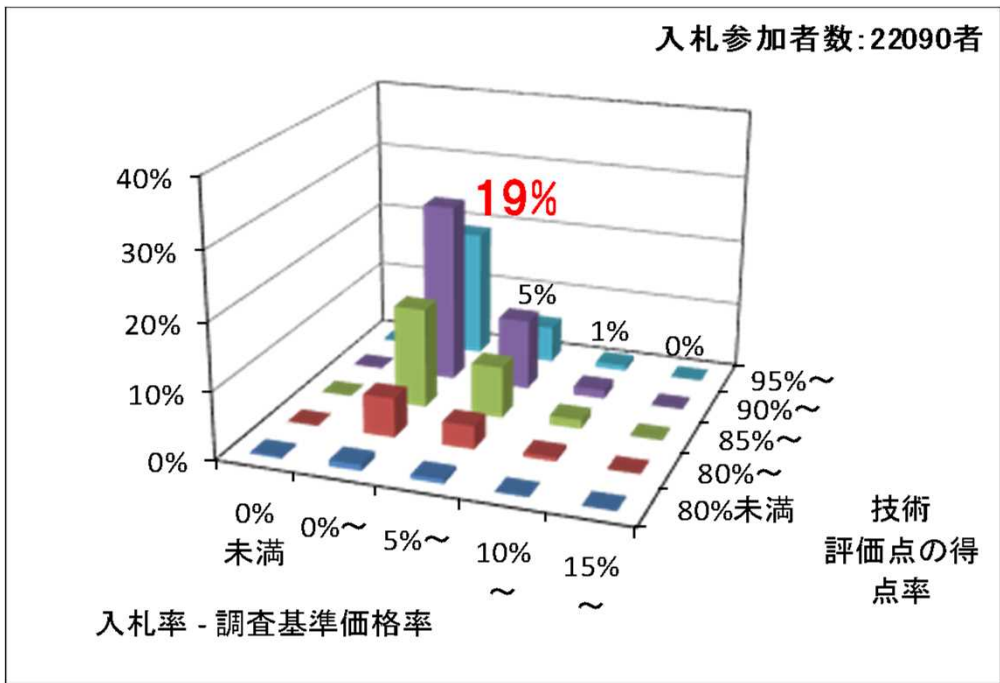


# 5. 総合評価の特徴

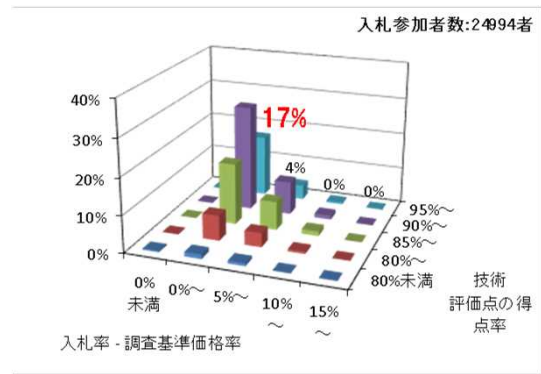
## (8) 入札参加者の「入札率-調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」〔経年変化〕

■ 入札参加者の「技術評価点の得点率」が95%以上で「落札率-調査基準価格率」が0%以上5%未満の入札は、平成29年度の17%から平成30年度は19%に増加している。

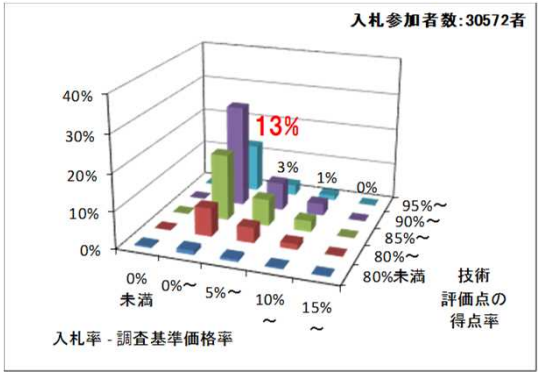
【平成30年度】



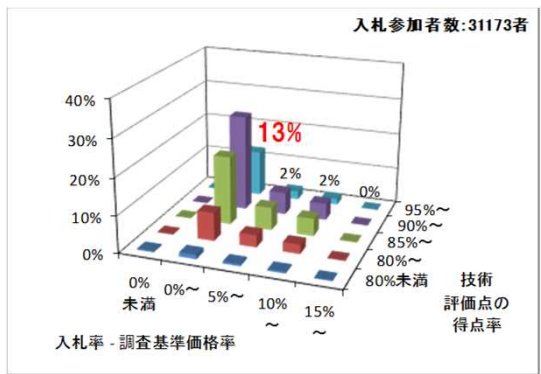
【平成29年度】



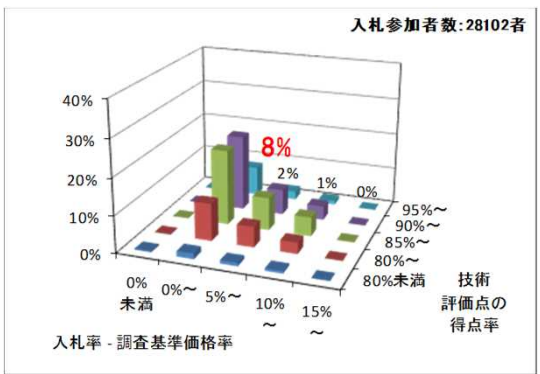
【平成28年度】



【平成27年度】



【平成26年度】



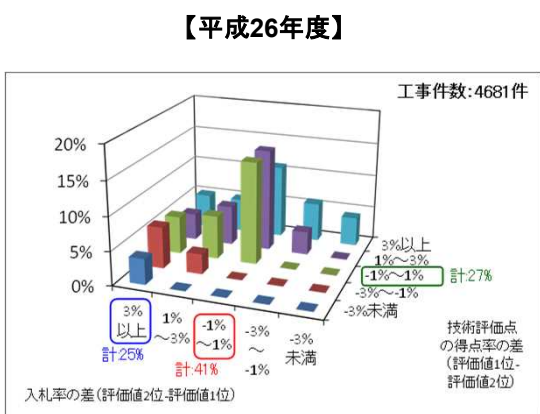
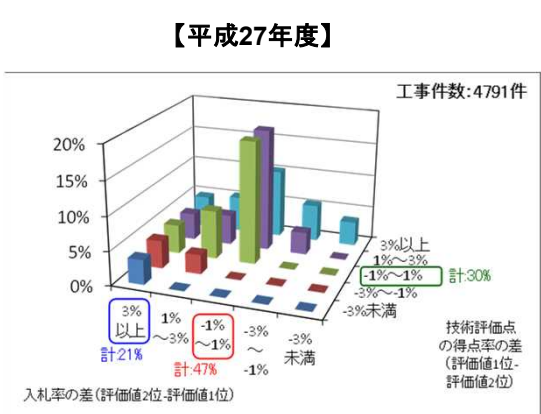
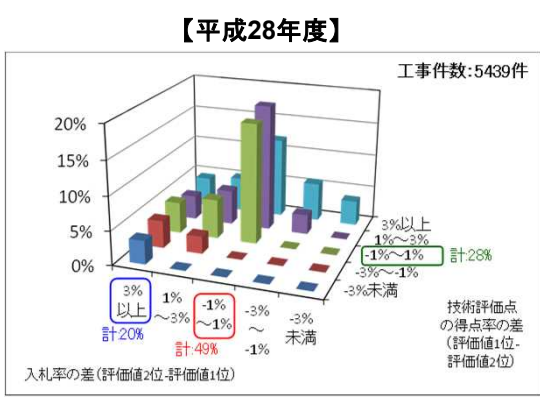
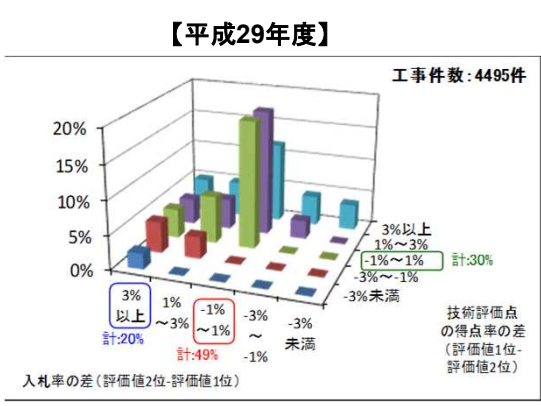
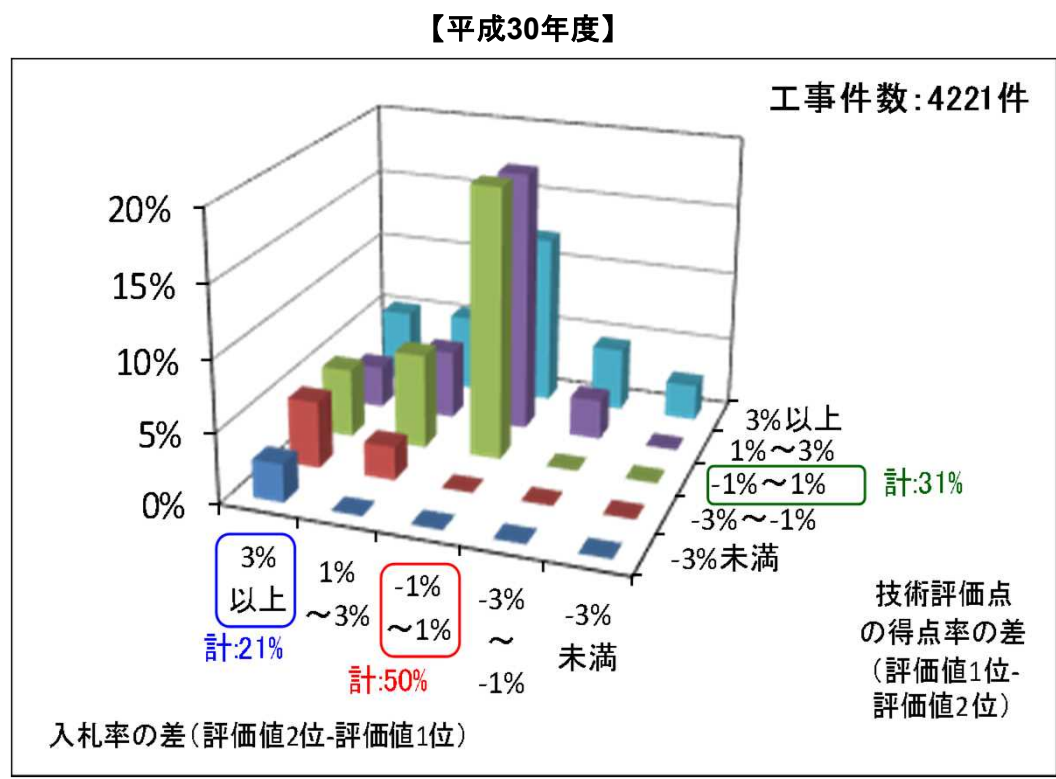
注1)8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
 ・港湾・空港関係工事  
 ・価格競争  
 ・調査基準価格が設定されていない工事

注2)入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等及び予定価格超過者を除く。

# 5. 総合評価の特徴

## (9) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の「入札率」及び「技術評価点の得点率」の差〔経年変化〕

- 「落札者と次点者の技術評価点の得点率の差」が±1%の割合は、平成29年度の30%から平成30年度は31%と1%増加している。
- 「落札者と次点者の入札率の差」が±1%の割合もまた、平成29年度の49%から平成30年度は50%と1%増加している。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
 ・港湾・空港関係工事  
 ・価格競争  
 ・予定価格内1者の案件

注2) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の差は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定

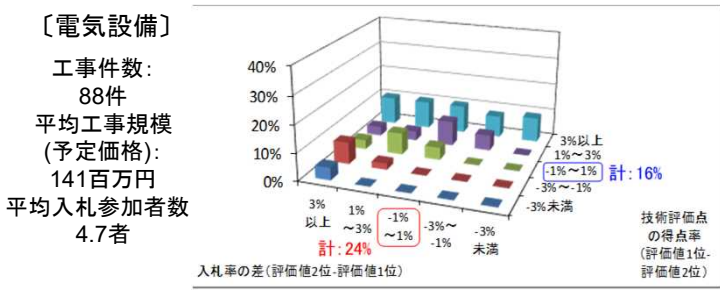
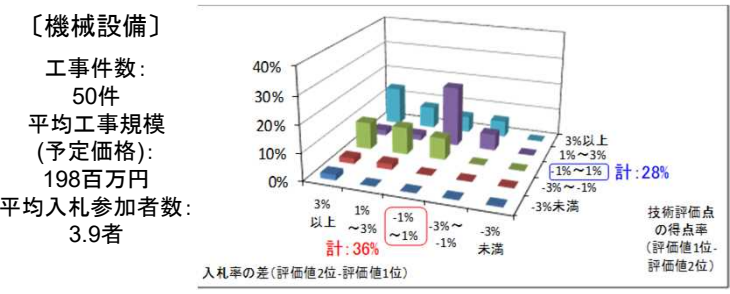
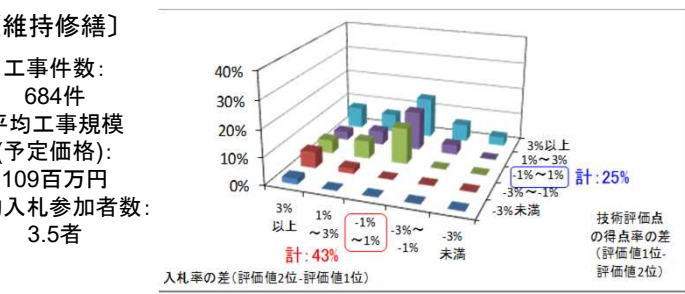
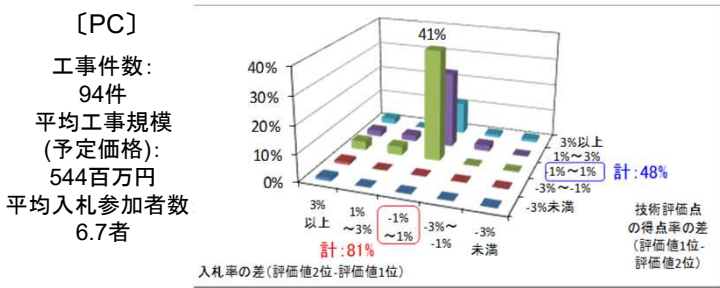
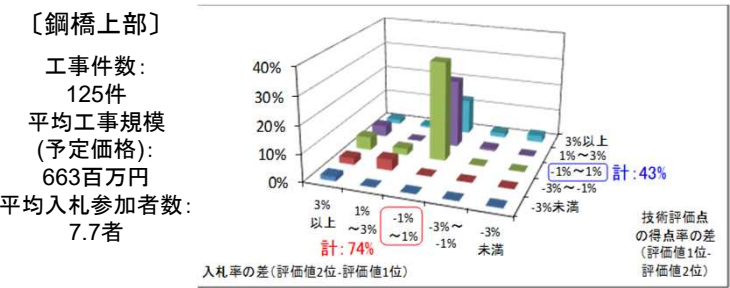
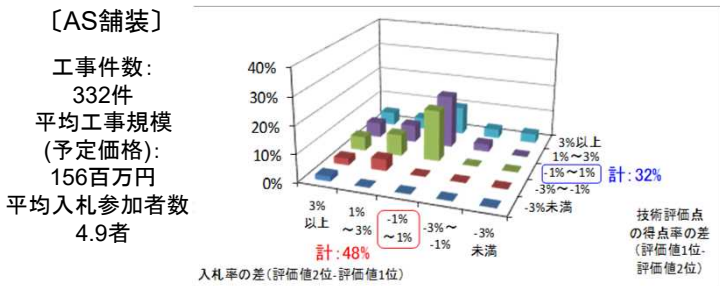
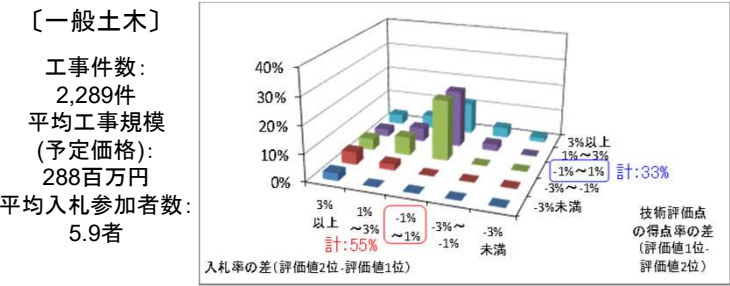
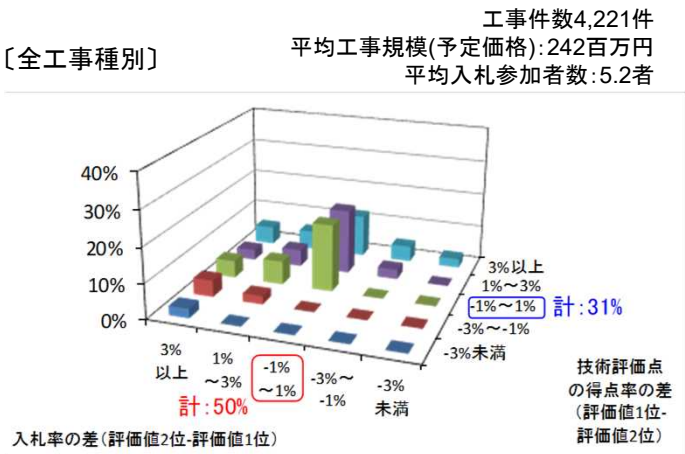


# 5. 総合評価の特徴

## (10)落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の「入札率」及び「技術評価点の得点率」の差〔平成30年度〕

### ①工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PC は、「技術評価点の得点率の差」、「入札率の差」ともに±1%の落札者が他の工事種別よりも多くなっている。



注1)8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
 ・港湾・空港関係工事  
 ・価格競争  
 ・予定価格内1者の案件

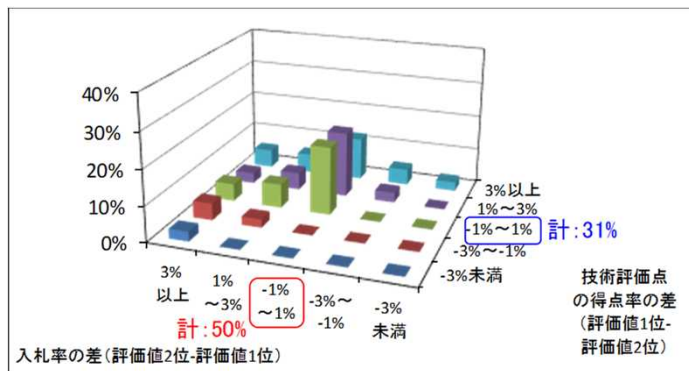
注2)落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の差は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定  
 注3)平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者を含む。  
 注4)平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 5. 総合評価の特徴

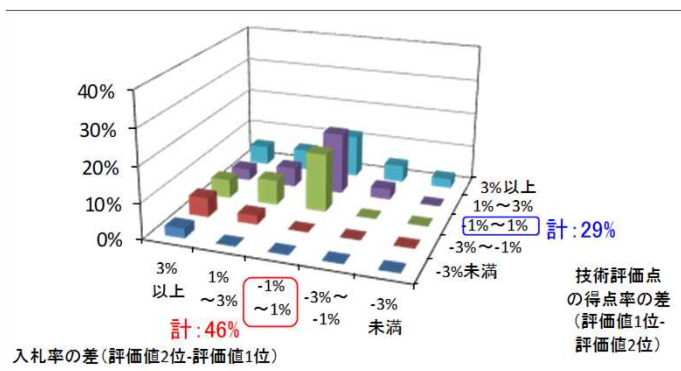
## ② 契約タイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)では、「技術評価点の得点率の差」が±1%の割合が47%、「入札率の差」が±1%の割合が80%であり、他の契約タイプよりも高くなっている。

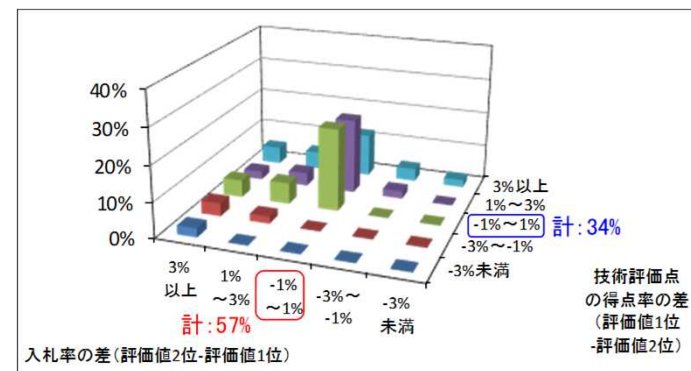
工事件数: 4,221件  
 平均工事規模(予定価格): 242百万円  
 平均入札参加者数: 5.2者  
 [全タイプ]



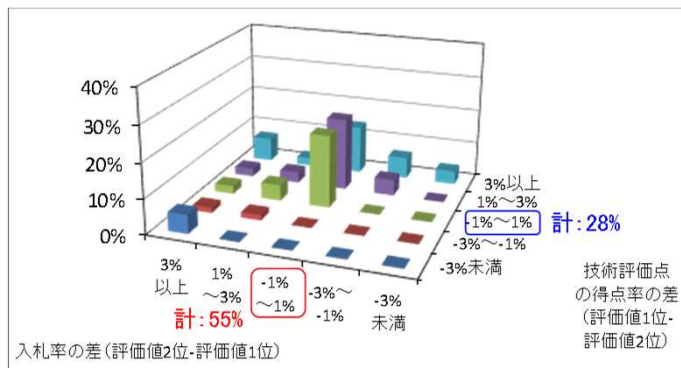
工事件数: 2,974件  
 平均工事規模(予定価格): 143百万円  
 平均入札参加者数: 5者  
 [施工能力評価型(Ⅱ型)]



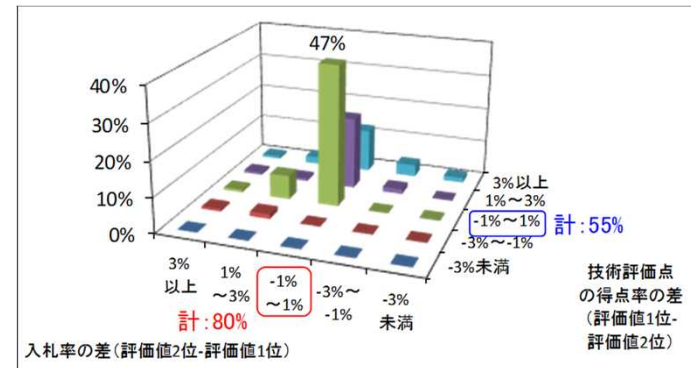
工事件数: 970件  
 平均工事規模(予定価格): 198百万円  
 平均入札参加者数: 4.9者  
 [施工能力評価型(Ⅰ型)]



工事件数: 130件  
 平均工事規模(予定価格): 370百万円  
 平均入札参加者数: 6.2者  
 [技術提案評価型(S型)]



工事件数: 146件  
 平均工事規模(予定価格): 2,457百万円  
 平均入札参加者数: 10.5者  
 [WTO技術提案評価型(S型)]



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・予定価格内1者の案件

注2) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の差は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定

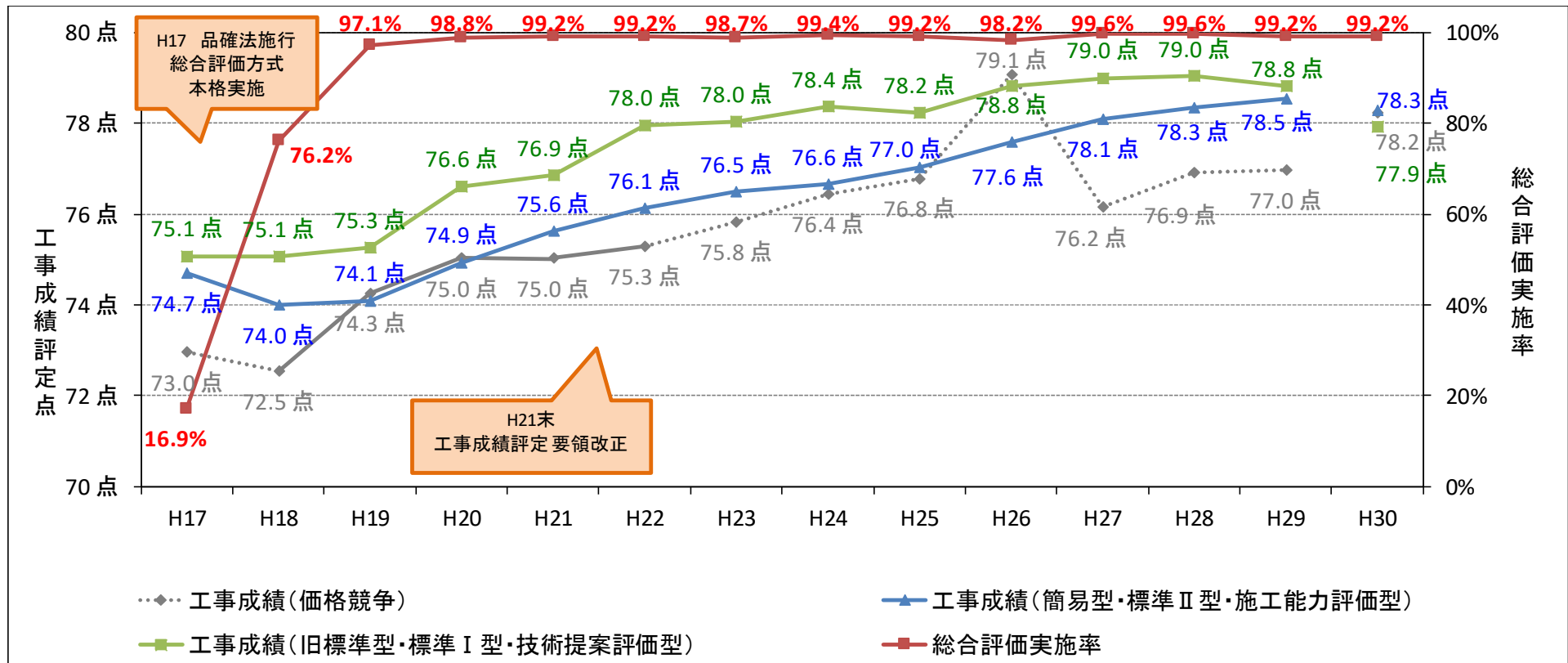
注3) 平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者数を含む。

注4) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 6. 総合評価の導入と工事成績評定点

## (1) 総合評価落札方式の実施率と工事成績評定点の変化

■ 契約タイプ別では、価格競争よりも施工能力評価型、技術提案評価型の工事成績評定点の平均が高くなっている。



	H17件数	H18件数	H19件数	H20件数	H21件数	H22件数	H23件数	H24件数	H25件数	H26件数	H27件数	H28件数	H29件数	H30件数
価格競争	7,088	2,385	2,054	827	223	193	76	34	50	77	13	20	32	13
総合評価(簡易型・標準Ⅱ型・施工能力評価型)	680	4,923	8,269	8,645	8,949	7,643	7,932	7,963	9,129	6,835	6,037	7,333	5,951	2,321
総合評価(旧標準型・標準Ⅰ型・技術提案評価型)	378	686	921	725	691	211	255	220	456	373	348	265	283	27

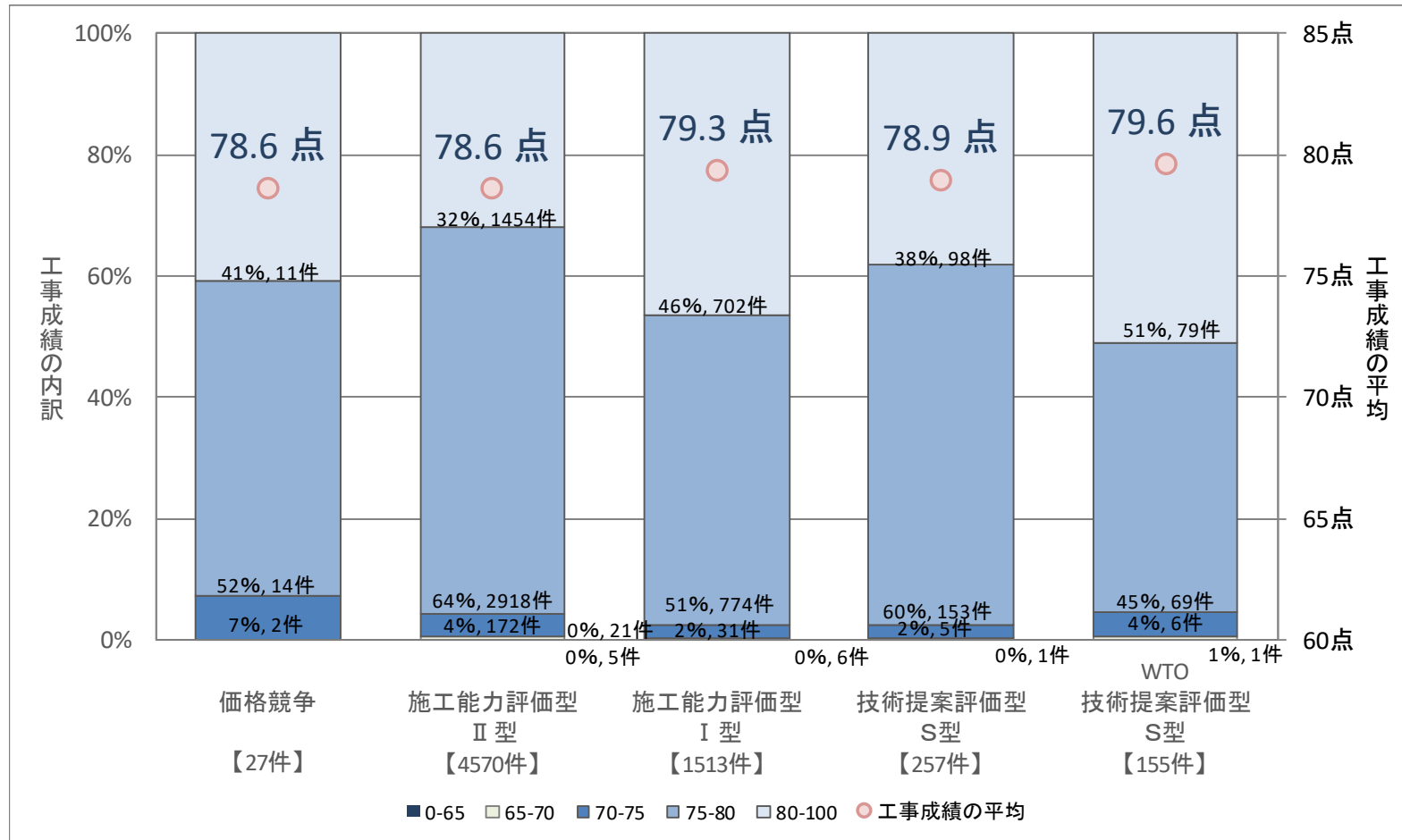
注1) 8地方整備局の工事を対象（港湾・空港関係工事を除く）、価格競争を含む。  
注2) 注1)の工事のうち、契約データと工事成績データとのマッチングができたものを対象に集計(平成30年度完成分まで)

注3) 各年度の工事件数は契約年度別で整理  
注4) 平成26年度完成工事の価格競争には土砂災害の緊急復旧工事が含まれているため、工事成績評定点が高くなっている。

# 6. 総合評価の導入と工事成績評定点

## (2) 契約タイプと工事成績評定点

■ 工事成績評定点の平均は、施工能力評価型(Ⅱ型)で78.6点、同(Ⅰ型)で79.3点、技術提案評価型(S型)で78.9点、WTO技術提案評価型(S型)で79.6点となっている。



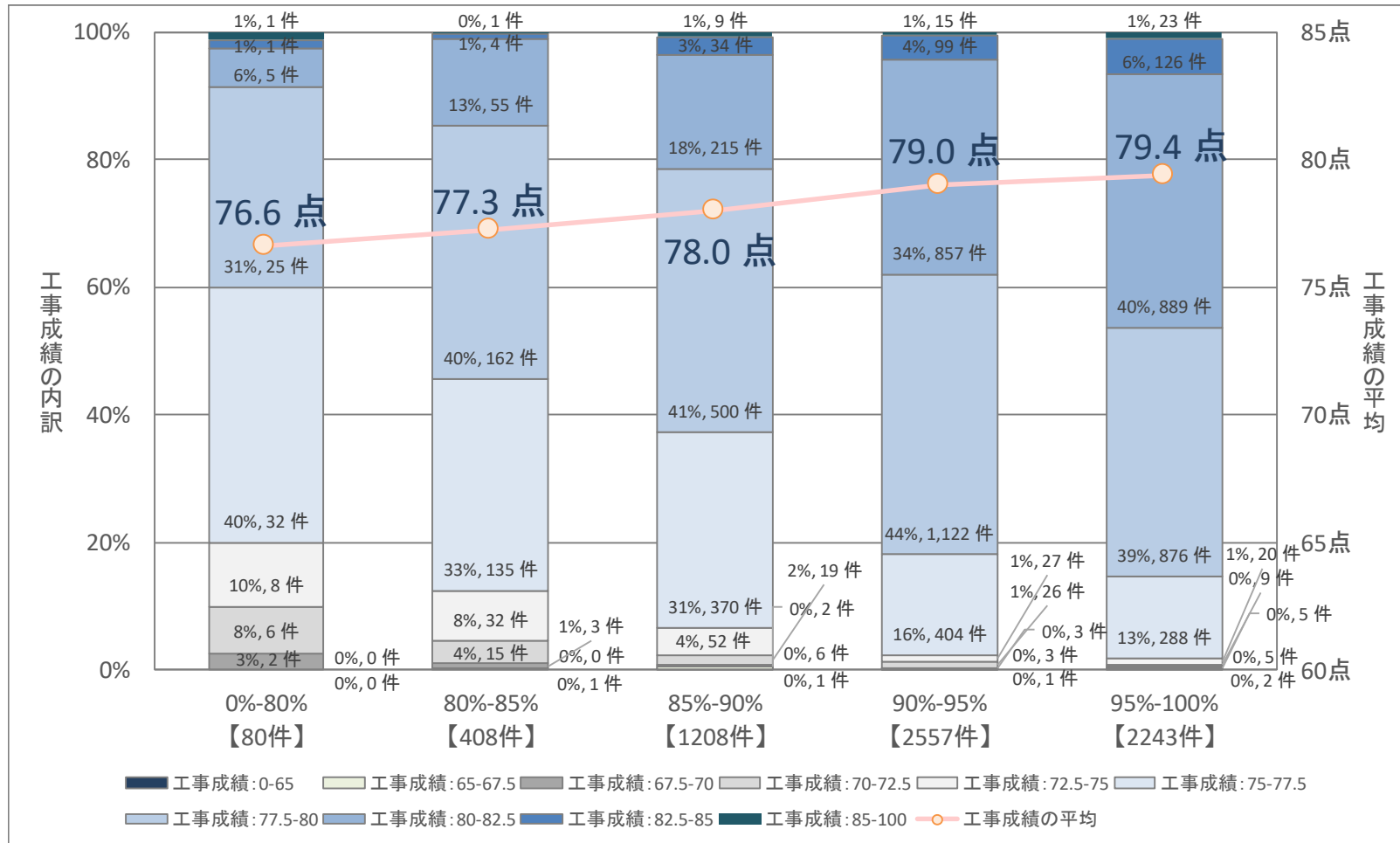
注1) 8地方整備局の平成30年度完成工事を対象 (港湾・空港関係工事を除く)、価格競争を含む。

注2) 契約データと工事成績データとのマッチングができたものを対象に集計。

# 6. 総合評価の導入と工事成績評定点

## (3) 技術評価点得点率と工事成績評定点

■ 技術評価点の得点率が80%以上85%未満の工事では工事成績評定点の平均が77.3点、技術評価点の得点率が95%以上の工事では、工事成績表定點の平均が79.4点と高くなっている。



注1) 8地方整備局の平成30年度完成工事を対象（港湾・空港関係工事を除く）、価格競争を除く。

注2) 契約データと工事成績データとのマッチングができたものを対象に集計。 - 36 -